京城日報

三十一日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字十六字詰一行金八拾錢 ▲二號活字八字詰一行金 ▲三號活字同上 ▲四號活字 ▲六號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局…番 營業局…番 振替貯金口座京城…番

◎大統領の移民法案否認

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏は移民法案中に語學試驗の規定あるの故を以て同法律案を否認したり（紐育電報）

◎獨逸の對米第二通牒

獨逸政府は駐米獨逸大使ベルンストルフ伯に對しウヰルソン大統領の上院に於ける演說に關する第二通牒を近く發送すべしと（紐育電報）

◎英國の北海政策著手

スカンヂナビヤ方面よりの來報に依れば、英國政府は北海に於て新規の海上政策に著手しつゝあるもの丶如く其の政策中にはジュットランドの西部海岸沖を新に水雷敷設區域と爲す事を含めり猶コッペンハーゲン來電に曰く、北海に於て新たなる危險區域を生ぜるも丁抹の海運には殆んど關係なし只和蘭航路を變更したるのみにて丁抹の漁業には著しき影響なし（倫敦電報）

◎大借款成立近し

四國財團は米國の財團加入を承認せるを以て近く對支大借款成立を告ぐべし（東京電報）

◎陸氏赴日と支那紙

陸宗輿氏が日本に赴くに關し北京に於ては最も注目せられ居れり氏は今回の訪日は妻の病氣療養と稱するも支那新聞紙は現在議會には憲法問題等幾多の國家問題ありて議員の缺席を取締りつゝあるに拘らず陸氏が參議員として日本に赴くは必ず政治上の意思を含むに相違なしと觀察し居れり（北京特電）

◎陸氏北京出發

渡日す可き陸宗輿氏は三十日午後隨員一名を隨へ出發せり同行の筈なりし夫人は病氣の爲め中止す（北京電報）

◎運河借款と銀行

日米兩國にて引受くる支那運河借款中五百萬圓は我正金、朝鮮、臺灣の三銀行にて引受くる事となれりと傳へらる（東京電報）

◎徐總長辭職

徐中國銀行總長は兌換事件にて辭職せり（北京電報）

◎間島銀行の計畫

天寶山開掘に全力を注ぎつゝある大興公司社長濱名氏は同地將來の發展に資する爲め間島銀行創立の準備中なり（奉天電報）

◎憲派選擧方略

憲政會の總選擧に對する一般方略は總務安達謙藏氏を選擧主任とし九名の選擧委員を設け三月下旬迄には立候補を整頓せしむる筈也（東京電報）

◎選擧取締統一

司法省及び內務省は總選擧に對する取締上の統一を期する方針なりと（東京電報）

◎牧山氏立候補

京城の牧山耕藏氏は政友會公認候補者として長崎縣より立候補する事に決定せり（長崎電報）

◎御眞影北上

陶山通譯官は御眞影を捧持して三十一日午前十一時釜山發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎內田大使旅程變更

駐露大使內田康哉子は夫人政子令（六）大使館書記官宥木新氏同行岡本常吉氏及び料理人一名下婢二名と共に三十一日午前九時三十分高麗丸にて釜山に上陸せり、子は同夜の滿鮮直通列車にて赴任の豫定を同日午前釜山出發急行列車に變更したる爲草梁に廻送しありし滿鐵貴賓列車を聯結せしを以て發車時刻遲延し同十一時發長春に直行せり子は長春にて大使館附定田海軍武官佐藤書記官其他一名瑞西公使館井田書記生等と同乘露都に向ふ筈なり（釜山特電）

◎中學增設問題

議會解散の打擊

京城が日新月步の首都として近來の發達著しく內地人の移住者も亦頗る多きものあるに拘らず小學校を卒へたる子弟の教育機關に一大缺陷の存することは當局に於ても既に之を認め本紙の屢々報道せし如くなるが府民と直接の關係ある京城學校組合議員に於ても昨年末の組合會議に於て京城中學の擴張を行ふか或は更に京城中學の新設を爲すかの件につき建議案として府尹に提出し提案者たる山口太兵衛氏は素より田中半四郎氏の如きも極力建議の趣旨に附き當局に意見を披瀝してその贊同を求むる處ありたるが府尹は勿論道廳、總督府も大に之を是認し居たり

▲建議案の主旨 は其當時本紙に掲載したる如く曩に平壤中學が京城中學の分校として生徒を收容したるの例に倣ひ更に京城に於ても京城中學の分教室として約二學級位の生徒を例年本校にて募集する百五十名以外に收容し得る設備を整へ來る四月一日より開校し追て大正七年度の豫算に京城第二中學の新設費を計上し是等の生徒を此處に繼承して開校せんとするものにして此等教室に要する教員其他多少の費用は本年より新設さるゝ大田中學の設備費の一部流用を行はんとしたるものにして校舍は土地調査或は明治町なる元韓國商業跡を借用せん計畫を立てたり當局は之に對して同意を表し殆んど其實現を見んとしたる一刹那偶然

▲議會解散の影響 を蒙り大田中學は全くの新規事業なるが故に六年度の追加豫算には計上し得られず自然大正七年迄新設を延期することゝなるべきを以て前記建議案の計畫は根柢より頗るの餘儀なき悲運に遭遇するに至れり然れども大田は土地の有志より土地の寄附迄なしたる關係もあり同地方民が多大の期待もある次第なれば當局としては前述の平壤の例により京城中學の大田分校として來る四月一日より開校し約五十人の生徒を募集する應急策を講ずることに內定し居るもの丶如し而して一面京城の中學新設問題も焦眉の急に迫られ現に本年の如きは京城七小學校の卒業生にして

▲三百九十の入學者 を有し之に地方の分を加算する時は優に五百五十乃至六百名にも達し試驗の結果僅に百五十名の入學を許さるゝと云ふの不便と不都合を感じ居るの實情なるが故に當局も大正七年度に於ては萬難を排して京城第二中學の新設を斷行せんとする決心を有し居れり以上の如くにして折角の建議も本年の新學期には實現せられざることになりたるも幸ひ本年は善隣商業學校に於て內地人の入學者を例年より五十名多く收容する由なれば幾分中學に入學し得られざるもの丶不便を救濟することを得べし尙ほ京城の父兄等申合せ京城中學增設期成會と稱す可き團體を組織し官邊の同情ある措置と相俟つて內地人教育機關の充實を期せんとする計畫もありと

卅一日夜通過の內田駐露大使

◎郵便規則改正

朝鮮府內地、臺灣、樺太及び支那間に於ける郵便規則中改正の件は二月一日府令に依りて發布即日施行の事となれり

◎電話規則改正

遞信局にては昨臘來電話規則改正に付諸種調査中なるが昨今も連日岡本長官代理島田矢野佐々木各課長加納副事務官等會議室に參集審議を凝しつゝあり

◎鐵道電信主任會議

鐵道各驛電信主任會議は卅一日も引續き開會諸般事務の打合せをなし會議を終了せり

◎內田大使は今夜

京城通過北行

京城通過北行の內田大使は釜山電報の如く旅程を變更し卅一日午後九時南大門驛著同九時四十分發安東縣行き急行列車に搭乘京城通過任地に向ふ筈なり

◎モアー氏入京

米國赤十字代表者ホイッチ、モアー氏は三十日午後九時南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに投宿中なり

◎岡本參謀長巡視

第十九師團參謀長岡本功大佐は一月二十五日出發咸南より咸鏡方面部隊巡閲の爲め出張したるが約五十日の豫定にて歸任すべしと

◎全北水電計畫

京城實業團の發起

京城の原勝一、天日常次郎、關繁太郎、梶原末太郎、荒井初太郎、志岐信太郎、後藤虎雄の諸氏發起となり全羅北道錦津江に水力電氣會社を起さんとし客年十二月上旬全北道廳に一件書類を提出する處ありたるが同道廳よりは三十日總督府宛書類の進達を爲し來りたり今其內容を聞くに資本金を一百萬圓とし株式會社朝鮮水力電氣會社と稱し一株五十圓總株を二萬株とし（第一回四分の一拂込）發起人に於て五千株を引受ることゝしたり會社營業の目的は一般の需要に應じ主として井邑、金堤、黃登、成悅、金州、裡里、江景、論山、公州地方の電燈電力の供給及び之に關する工事請負、機械器具の販賣、貸附并に將來附帶事業として用水灌漑の事業を經營せんとするものなり發電所は井邑郡山內面宗山里に設き二百六十九馬力の電力を起す設計にして工費約五十萬圓許可あり次第工事に著手すべしと尙ほ本事業には原勝一氏主として其局に當り目下全北地方の內鮮人有志數名をも發起人として勸誘中なりと

◎セメント認可

山口縣厚狹郡に本店を有する小野田セメント會社より總督府に出願中なりし平安南道江東郡大同江岸（寺洞上流）に支店設置の件は今回總督府より認可されたるが事業の目的はセメントの製造販賣セメント製作及び石灰の製造販賣なり尙ほ會社の代表者は福原榮太郎氏にして會社は直ちに工場設置準備に著手すべしと

◎美濃部總裁東上期

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は秘書役曾彌安輔子を隨へ二月二十日東京銀行集會所にて開會する銀行株主總會に列席の爲め一日午後七時五十分南大門發列車にて東上の途に就く由なるが都合により途中神戶に一泊すべしと

◎鮮銀司事新任

朝鮮銀行にては鎭南浦支店長久保田積藏氏外六名を今回司事に昇任せしめたり

鎭南浦支店長 久保田積藏
營業局勤務 倉富鈎
本店詰 水間美龍
松田銀行部長 木原小平
元山支店長心得 久我清廣
營業局勤務 高橋武夫
釜山支店勤務 粟原鷹丸

◎京城組合豫算承認

京城學校組合大正六年度の豫算は各係の調査を終へたるを以て騰寫の上二十九日其筋に提出し承認を求むることゝなりたるが組合會議は二月上旬開會さるゝ筈

◎京城商議の役員會

京城商業會議所にては與の總會に於て韓相龍氏の提案にかゝる定款改正の件につき近く役員會を開會して協議の上迫て總會を召集し議員褒賞規程と共に附議すべしと

◎仁川花町道路改修

仁川府多年の懸案なりし花町道路改修工事は大正五年度に於て著手すべき豫定なりしも虎疫發生の爲め延期の餘儀無きに至りたる爲め明年度豫算に於て施行すべく目下調査中なり該道路の改修工事費は約一萬三千圓に過ぎざれ共經費多端にて市民の負擔を輕減せざる可らざる折柄なれば一年度內に支出する事能はず明年度は先づ五六千圓を支出し二三年の繼續事業として完成せしむ可く其の曉は狹隘にして坂路多き花町道路は兩側に下水溝を穿ち四間餘の通路を有する坦々たる良道に化し太神宮下の如きも六尺以上を鑿平せらるゝを以て車馬の交通は自由になり獨り花町の繁榮のみならず富川郡其他奧地方面の交通を便宜にして仁川發展上益する所大なる者あらん而して該道路改修は花町居住民其他五十餘名の請願に係るを以て當該町民有志は府財政の現況に鑑み個人的利害を犧牲にして同事業を直接間接に援助す可ければ比較的多大の費用を要する家屋移轉土地收容費の如きも極めて低廉の支出を以て完了し得る事を信じ居れり云々と楠野府尹は語れり（仁川）

【仁川】

▲高女生見學 仁川高等女學校にては來る三月末日卒業すべき第四學年生に對し常識養成の目的を以て本學期中毎火曜日午後教員附添の上觀測所、停車場、銀行、稅關、發電所、郵便局、鐵工所、新聞社等を見學すべく更に三月中旬頃燈臺、銀樓等を見學すべしと▲天氣圖配布 仁川觀測所にては來年度より全國の天氣圖を謄寫して日々各方面に配布す可く目下研究中なりとの事なるが實行の曉は非常に有益なる可し

【咸興】

▲軍營期成會解散 咸興常設聯隊設置運動の爲め組織されたる軍營期成同盟會は其の初志を貫徹し首尾よく步兵第七十四聯隊設置後尙ほ土地獻納事務の終了せざるに依り存續したるも之れが終了と共に去る二十七日を以て同會の爲め盡力されたる官民を招待し盛大なる解散式を擧行したり▲農畜技術員會議 咸鏡南道に於ては來る三月一日より同八日までの六日間に管內各府郡農業技術員會議を三月五日より同七日までに各郡畜產技術員會議を開催する筈▲咸南貯穀潤澤 咸南本年に於ける貯穀狀況を聞くに其量例年に比し意外の增加を示せるもの丶如く常食とすべき米、粟、稗、黍類は本年秋收時期までを貯へ居れるが就中多少商買氣を帶べる農民は來るべき商相場に乘じ之れを放賣して利せん事を期待し山地海岸兩地帶共に其の成績概して頗る良好なり▲客年咸興市場況 咸興郡內に咸興市、榮市、五老里、下通里、地境里、連浦、西湖、退潮、山部九ヶ所の市場あり客年中其の總賣上高は農產八萬三千百九十四圓水產五萬四千二百九萬八千一百十五圓雜品十五萬八千二十三圓を算せり

【元山】

▲北鮮歌留多會盛況 元山每日新聞社の主催に成れる北鮮歌留多大會は二十八日正午より翌二十九日午前一時三十分に亙り元山大芳樓大廣間に於て催されたるが來場者士九十餘名にして觀覽者數百名に達し頗る盛會互に奮闘決戰の結果一等宇都宮、二等竹原、三等川端、四等武、五等野崎と決して散會したり▲清津府尹通過 過日來上京中の清津府尹吉田格之助氏は二十八日夕鐵路來元村地元山府尹官舍に滯在し三十日立川丸にて出發歸任したり▲前總督寄附募集 目下募集中なる前總督寺內伯に對する寄附にして三十日までに元山發起人側に申込みたるものの三十數名八十餘圓に達す▲學務委員例會 元山學務委員例會は三十日午後一時より元山公立普通學校內にて催されたり

【公州】

▲公州の製莚業 公州郡反浦面鶴峰里は山間の一寒村にして是迄一般に貧困部落と目せられ居たるを以て該面長は之を遺憾とし製莚機十四臺を同部落に購入せしめ共同作業場を新築し道廳より技術員の派遣を請ひ客臘十六日より一週間の講習會を開きたるに成績良好にして既に六百枚を製造し大田方面に之を販賣し相當利益を收めたるを以て之より面內の副業として勃興すべく豫期せらる又た鐵堂面は製莚業地として郡內に聞ゑたる面なるが今回製莚業講習會を本月十日より一週間開催し二十六名の生徒を收容して傳習せしが孰れも成績良好にして中には模範とすべき製品を出したる者さへあり道よりは機臺十四を賞品として給與せり又長岐面に於ては製莚從業者共の販賣金を貯蓄して牛一頭を購入したる者あり此の事一般面民の知る所となり製莚熱勃興の兆あり以上の如く本業は近來著しく勃興し各面を通じて從業する者日に增加するを以て郡廳に於ては其の販賣方に就き斡旋すると共に農家の副業として將來益々有望なるを以て各面に涉り講習會開催の計畫中なり▲道長官の慈善 上林忠淸南道長官は先般非常の寒氣に際し公州の不憫なる赤貧者二十三名に對し金若干圓を寄贈したるが受贈者は恰も陰曆臘末に際し困らずも超歲の資を得大に感激し中には涙を流して其の德を頌したる老媼もありたり▲隊署長會議 忠淸南道警務部に於ては二十九日より二日間の豫定を以て管內憲兵分隊長警察署長會議を開催せり

【群山】

▲學校組合豫算 群山學校組合大正六年度歲出入豫算は既に大體編成を終りたるを以て近く道長官の認可申請を爲すべく經費豫算は小學校增築の爲め前年度に比し多少の膨脹は免かれざるもの丶如し▲商議豫算會議 群山商業會議所にては二十九日午後三時より商議員總會を開催し大正六年度歲入出豫算及び賦課金徵收規則等に關し附議決定する處ありたるが歲入出豫算は三千百九十一圓五十錢なりと▲漁場調査 總督府水產課遠山技手は本月十四日群山を經て於青島に向ひ同島西方三十海里の沖合鯛漁場の漁業調査中なるが同漁場の海水比重溫度其他を研究し於青島を中心とせる他方面に就き比較調査し鯛魚族棲息の有無を研究する由なれば其の結果或は意外の好漁場を發見するに至るべし▲杉浦技師講話 福岡縣水產課杉浦技師は同縣移住漁業者狀況調査の爲來鮮中なりしが群山に於る同縣移住漁業者狀況調査の爲め二十九日來群せるが序を以て當地水產學校に臨み同校生徒に一場の講話を爲したり

【大邱】

▲安東保護林拂下 慶北安東郡府內面東部舍對岸なる防波保護林九十三町餘は此頃に至り其必要なきに至り解除されたるが之が一部は郡廳の苗圃に充つ可き豫定なるも殘部約五十餘町步は安東邑有志休田、稻留、金谷、笠原其他鮮人共同にて拂下請願をなし認可の曉には其一部を學校組合及び普通學校の基本財產に寄附する方針なりと▲鈴木輕鐵幹事來邱 朝鮮輕鐵會社取締役幹事鈴木熊太郎氏は三十日來邱沿道停車場其他工事準備の打合せをなし二日朝歸東の筈

【釜山】

▲御眞影捧持 今回新たに朝鮮に御下賜相成りたる上の御眞影六十餘枚を奉迎の爲め馬關に出張したる朝鮮總督府陶山武二郎氏は三十一日朝入港の連絡船高麗丸にて釜山上陸午前十時三十分發列車にて捧持京城に向ふ▲井上少將歸還 陸軍運輸狀況視察の爲め渡鮮せし陸軍運輸本部長井上少將は三十日午前五時四十分著列車にて來釜直に東萊に赴き同夜引返し午後八時三十分出港連絡船さくら丸にて宇品に歸還せり▲大村檢事正著 大邱地方法院より釜山地方法院に轉任せらる檢事正大村大代氏は愈よ二月一日午後七時著列車にて來任の筈▲朝霧出港 新任鎭海要港部司令官海軍中將東鄕吉太郎氏を出迎の爲め回航中の水雷艇朝霧は三十日午前九時四十分馬山に向け出港したり▲商議總會と豫算 釜山商業會議所定時總會は三十日午後一時より同所會議室に開會大正六年度收支豫算同賦課徵收方法を附議したる原案は歲入の部賦課金六千二百三十二圓十二錢賃品部貸家料五百圓雜收入二百八十六圓合計七千十九圓十二錢にして支出部給與金其他六千六百二十九圓七十九錢豫備金三百八十八圓三十三錢合計七千十九圓十二錢なるが賦課率は營業稅は（法人）府稅百分の十六、同上（其他の營業）府稅百分の十九、釀造稅は府稅百分十四とし四月より四期に分ち徵集する筈なり▲瓦斯電氣新年會 釜山瓦斯電氣株式會社は三十一日午後六時より官民社員等數十名を招待し新年宴會を開催▲釜山歌留多大會 釜山日報社主催となり二月四日午前より南濱町芳千閣に於て全鮮歌留多大會を開催する由なるが既に京仁其他より多數の參加者ある筈なるを以て當日は定めし盛會なるべし

人事消息

▲榔津友弼氏（京城地方法院檢事正） 西小門（元松寺氏居住）官舍に入る
▲町原重光氏（久原社員） 三十一日朝入京天眞樓に投宿一日朝退京の筈
▲富家信一氏（東京勸家） 卅一日朝入京京金へ
▲近藤幸太氏（步兵大尉）▲成瀨潔氏（步兵中尉） 三十日夜利川より入京日の丸旅館に投宿三十一日朝利川へ
▲ファチツト氏▲ダブル氏（以上佛人）▲ホイツトモーア氏マウス氏（以上米人） 三十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲大井哲太郎氏 三十一日夜發釜山へ

内地から朝鮮へ、滿洲へ、支那へ、歐羅巴へ！歐羅巴から、支那から、滿洲から、朝鮮から、内地へ！何方から何方へ行くにしても下關から釜山、釜山から下關、朝鮮海峡百二十七浬の波の上に十時間は過さればならぬ。あの連絡船の船室に立ち迷ふスチームとペンキの匂ひ大陸と本土とを繋ぐ新日本の大動脈の匂と嗅いで釜山の埠頭に下り立つた程の人は此の大動脈の搏動の永へに健やかに活潑にそして安全ならんことを希ふたであらう。さるにても、霧、風、雪、浪、冬將軍の暴るゝまゝに此頃頻々として續出したる連絡船の故障は我等をして此大動脈に就いて暫らく考へさせるものではあるまいか

▲鐵道の經營せる連絡船
盛んなる米國の實例＝某實業家談

安藤參事の説に續いて鐵道船舶の事に精通せる某實業家の説を叩いて見る曰く

余は帝國の大陸發展の本義に照らして、内地、朝鮮、滿洲の聯絡交通機關は須らく同一經營の下に置くを要すと思ふ、若し此事が直ちに行ひ難しとせば、切めて各個の機關の

▽聯絡上の經營方針を統一せしめる事が肝要である、而して下關釜山間の海上通路は之を單純なる水路として其性質職能を論ずるを許され、その理由は、關釜航路なるものは鐵道の延長であつて、其重要の程度は内地鮮滿の幹線鐵道と同じく

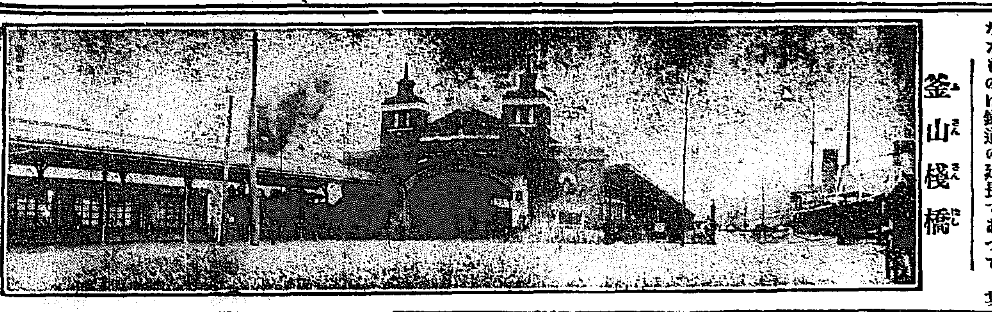
□内地と大陸 との間の大動脈であり、更に進では世界交通の大動脈の一部である、從つて此の航路が迅速であり、安全であり、正確であると否とは關係陸地の經濟に重大の影響を與ふる事は言ふ迄もない、然かも現在の關釜連絡設備が果して理想的であるかと云ふに遺憾乍ら未だ完全と稱する事はできぬ現下の連絡船問題は其時機を得たるもので此際

▽大に識者の考慮を促がして可なりと思ふ、鐵道は元來陸上の貨客を吸收すると同時に又之が分配をなすもので、苟くも大鐵道たるものは其終點を大商港に置き、船渠棧橋其他船積陸揚設備を經營するのが普通一般の例であり、若し海運との聯絡を缺くか或は聯絡が不完全である時は其鐵道は充分に其の

□効用を發揮 し難い、鐵道の汽船業兼營は近代交通上の著しい傾向で、鐵道として汽船會社を完全に支配する事の出來ない限りは鐵道自身之を兼營するが最も有利の策である、而して大規模組織の兼營は長距離鐵道の發達と一致し、米國に於て最も著しく發達して居る、米國に於ては大西太平兩洋の沿岸に鐵道會社が

▽幾多汽船業を經營 して居るが、大西洋側で有名なるはペンシルバニア鐵道がフイラデルフイアより英のリバプールに到る線、リーヂング鐵道が同じく英國に到る線等、其他太西洋横斷航路又は沿岸航路を兼營するもの頗る多く、殊に太平洋岸にては大北鐵道、北太平洋鐵道、南太平洋鐵道等の米陸横斷鐵道が或は東洋航路、或は布哇線、沿岸線等を兼營し就中加奈陀太平洋鐵道の如きは其

□鐵道の終端 を大西太平兩洋岸に有し自營の船車を以て歐洲と東洋とを聯絡し更に湖水河川にも船を泛べ、其所有汽船は六十隻に及び單に汽船のみでも堂々たる世界有數の海運業を成して居る


釜山棧橋

●雪の突風に馬を進めて
羅南騎兵第廿七聯隊の國境行軍
零下廿五度の河原に幕營

羅南騎兵第二十七聯隊にては耐寒行軍として兩中隊より編成せる混成中隊を組織し守屋大尉中隊長となり土屋聯隊長統裁の下に指揮官以外の將校は

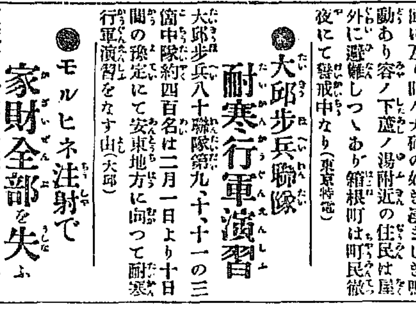
■全部所屬を定めて■ 研究委員を選任し聯隊長以下各將校は悉く炊爨起居を共にする方針の下に十五日午前九時兵員六十三名は隊伍粛々厄營を出發したり此日は天氣靜穩なりしと馬匹の脚を慣す爲め行程を著しく短縮したるを以て左程の困難なく夕刻富寧に到著同夜は内地人家に舍營せるが氣温零下十五度なりしを以て左迄寒氣を感ぜざりしも翌十六日富寧發

■古豐山に向け出發■ せるが此日も零下十五六度なりしを以て行軍極めて容易に茂山嶺の險も氣意旺盛なる士卒により何の苦もなく蹂躙し終つて午後四時古豐山に到著す第三日たる十七日は午前八時古豐山發午前中に會寧に到著せり此の日は又た殊に峻かく最低零下十四度に過ぎざりし翌十八日は會寧に於いて休養する事とし内地人家に舍營せり十九日早朝會寧出發鏡山洞に向ふ此地方に至れば國境の風物一變して一見窪地を除きては全く雪を見ざるが馬を進むるに時々馬蹄を沒するの積雪あり

■之れ西比利亞風の■ 對岸支那領より砂塵を送りて雪上を覆ふ結果ならん尤も道路上の雪は全く吹き拂はれあるを以て氷上蹄鐵を附したる軍馬には石の如く凍結せる路上の進行は雪中よりも却て困難なるものあり其夜は鏡山洞の河原に露營する事となり豫て用意せる寢藁を布き携帶天幕を張りて寢に就きたるも午後十二時頃より吹き出したる風は速卅五米突を算する烈風は天幕を煽り立て、如何ともすべからず疲勞せる身體も刻々低下して行く凜烈なる

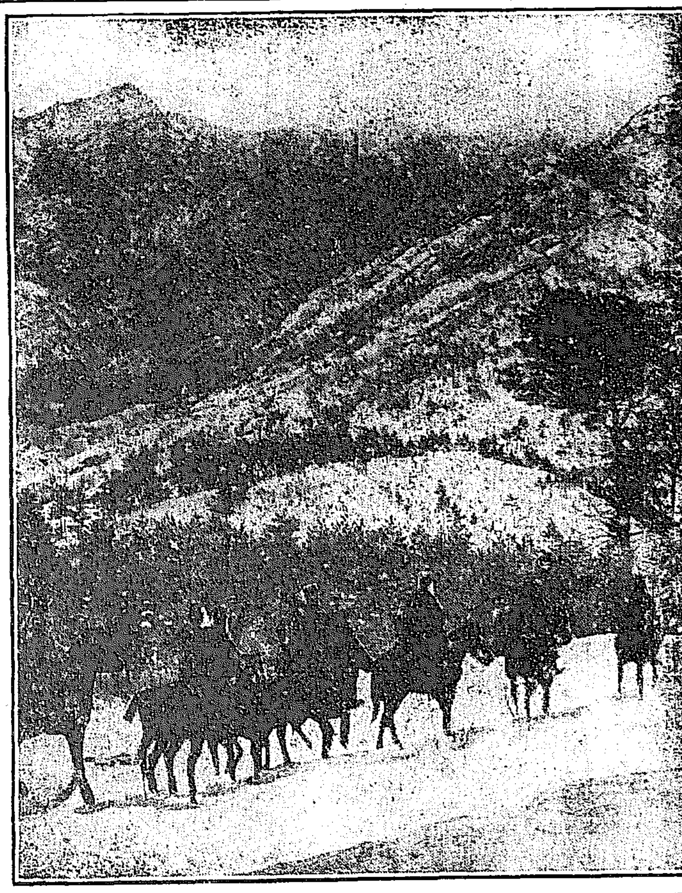
■寒氣と烈風とにて■ 寢を採る能はず零下二十五度と云ふ近寒の一夜を河原に睡眠も出來ぬ儘に明したるは此行軍中に於ける困難なる日にて同夜馬匹に被せて繃り付けありし毛布の風に吹き飛されて行方不明となりしに徴するも想像せらるべく此日は出發以來初めて遭遇せる風と寒氣にて毎日飯盒と水筒の結氷せぬ日はなかりしも中には當夜水筒の破裂せるもありし同夜食は凍りし飯に水を濺ぎ炭火に掛けて聯隊長以下全員が喫食せり二十日寒氣の爲め一睡をも採る能はざりし一隊は

■早曉勇を鼓して■ 行程十二里慶興に向つて進發せるが



此日も前日に劣らず寒威凛烈加ふるに突風頻りにして行進を妨げらるゝ事少なからず而かも向風なるより面を上ぐる能はず僅に風の一過する毎に頭を上げて馬を進むる有樣とて行程遲々として進まず人馬共に睡眠不足の爲に一層寒氣と疲勞を覺ゆ殊に費洛附近を通過する際の寒氣は眞に骨髓に徹するものあり漸くにして江八嶺の麓に達したるも間歇的に襲ふ突風の爲めに騎行する能はず風に向まされつゝ牽馬して峻嶺を踏破し慶興下に到著する事を得ざるが折柄起る守備隊の

■嚠喨たる喇叭の音■ に疲勞し切つたる士卒も元氣頓に回復し一隊は隊伍を整へ鐵蹄の音勇ましく慶興に馬を入れ一夜を鮮人家屋に舍營したるも寒氣の爲め温突暖かならず痛烈なる寒氣を感じつゝ其夜を過したり。つゞく(清津)


雪の進軍

●箱根温泉に 强震數十回

箱根に於ては卅日午後より强震數十回に亙り時々大砲の如き凄まじき鳴動あり容ノ下底ノ湯附近の住民は屋外に避難しつゝあり箱根町は町民徹夜にて警戒中なり(東京特電)

●大邱歩兵聯隊 耐寒行軍演習

大邱歩兵八十聯隊第九、十、十一の三箇中隊約四百名は二月一日より十日間の豫定にて安東地方に向つて耐寒行軍演習をなす由(大邱)

●モルヒネ注射で 家財全部を失ふ

全南公州邑内に近來モルヒネ注射の惡風行はれ益々増加の傾向あり其の弊害多大なるを以て公州警察署に於ては本月九日頃より之れが檢擧に努め夫々藥品及び藥品營業取締規則違反により三箇月若くは二箇月の禁錮或は二十日間の拘留處分に附し居れるが違反者中公州常盤町居住朴永五(四二)外數名は十數年前阿片煙を吸喰し居たるも爾來阿片の取締嚴重にして到底買入の途なき爲之が斷煙の方法として京城に於てモルヒネ注射をなし歸郷後之が爲め家財全部を失ひ妻子と共に餓死するの境遇に立ち至りたるより資産家の子弟を誘ひ藥品を分ちて注射を爲さしめ又藥品代として多大の金錢を收得し生計の資に充て一面江景京城清州方面より藥品を購入して注射を繼續し居たるも拘留後其筋の手當を受け全く注射を癈絶するに至れり(公州)

◆全南始めての寒氣
▽勞働者生計に窮す

朝鮮全道の中全羅南道は最も温暖なる地方なるが本月二日以降九日迄は近年稀なる寒氣にて氣温著しく降下し液體類の氷結を見るに至り加ふるに風雪継續したる爲め屋外勞働者は其の間殆んど休業の狀態となり搬軍仲仕俥夫の如きは數日間一文も收入なき爲め生計困難に陷りたるもの尠からず十日より天候漸く恢復し就業するを得たる爲め同道にては餓死凍死したるものはなかりし由尚該期間中木浦竹洞居住の車鬻植といふが所持金を醵出して附近居住の細民に對し一戸五十錢乃至七十錢宛を九十五戸に給與したりと

●素裸で海中に 飛び込んとす

廿九日午後四時頃釜山牧の島洲岬の海岸に一艘の帆船が淺瀨に乘上げ轉覆せんとせるを同島居住の佐藤榮一(三)及び船杉元平(四八)の兩人が發見し素裸となり海中に飛び込み救護に赴かんとせる處へ來合したる上田巡査は凍死の恐れありとて之を制し水上署の警備船玉浦丸を呼び寄せ救助せしめたるが船體及び乘組員三名共無事なりしと(釜山)

●豪遊中逮捕さる

黄海道延白郡鳳面山陽里鄭龍珠(三〇)は强盗の前科者なるが一月十八日夜外一名と共謀し梶棒を携へて黄海道平山郡上月面の金貸業金某方に侵入し家人を脅迫して現金二百圓を强奪し鎭南浦に入り込み後浦里娼家にて豪遊中を鎭南浦署の手に檢擧さる

●竹中家遺骨告別式

平南龍岡郡書記竹中一家三人の遺骨は竹中氏の實兄岩原毅及び妻女の實弟岩本千代松同實兄福井保の三氏に擁護せられ三十日午後三時平壤著直ちに箕陽倶樂部に設けられたる祭壇に安置され道廳在勤官吏にして同氏に親交ありし各課主任及び道書記數十名にてしめやかに告別式を擧行したり因に遺骨は午前一時平壤發列車にて郷里に携へ歸りたり(平壤)

讀者文藝 (一等には五十錢の圖書劵を呈す)

▽ものは付「勝手なものは」

▲苦しい時の神頼み(先著) 京城 不勝手坊
▲居候の不平 龍岩浦 信子
▲カイゼルの開戰責任論 海州 尊狂
▲變節改論 京城 拝溪州
▲人の口 一條なし 廣州 田中玉翠

●總監部の兎狩 警務總監部

憲兵隊司令部の有志者は警務總長古海將軍を總司令官として來る二月四日の日曜を利用し時季を論ぜず京城を距る郊外二里の地點にて兎狩を催し一日の消興を恣にする由

●公金を横領す 慶北慶州郡

江東面毛西洞居住前面長辛重夏(三一)は在職中御大典記念植樹桑苗代金大正四五年度面經費其他合計一千二十九圓五十二錢三厘の公金を横領せる事露顯し此程大邱檢事局に送らる

灯ともし頃

▲此間の東拓倉庫の火事は大事に至らずして類燒の厄を免れたと云ふのは全く消防自動車のお手柄だと云ふことだ▲其消防自動車はタシカ西大門のセールフレザー商會が警務部へ賣つて貰ふ約束から試驗のためとして京畿道に預けてあるもので價額三千圓である▲此自動車で消防すれば普通の消防機關よりも時間と力に於て三倍以上の能力を有するので警務部では是非購入したいと熱望して居るが併し豫算の關係で本年は到底支出の方法がないそれかと云つて何時迄も試驗計りはして居られないので愈々セ商會の方へ返さねばならぬことゝなつた▲折角の寶を手に入れ乍ら而かも火災の一番多い此頃に消防の親玉を手放すのは如何にも殘念だと云つて見たもの、▲出せないものは出しやうがなく種々と金谷府尹や宮前署長等が名案を捻り出し中ださうな

腦神經衰弱病者よ
運命はタッタ五分で決す
鐵は赤き中に打つべし 病は輕き中に治療せよ

▲働盛の男女に多い ヒステリーと云ふ病氣それは勿論昔からもあつたに違ひないが斯う文明が進んで生存競爭が烈しくなつた爲に今や世界的に人類的に瀰蔓してきた。と云ふのが元來本病は精神を過勞する結果神經に衰弱を來すのであつて從つて比較的呑氣な小兒や老人には少なく働き盛の年若い男女や學生間に多い。尤も精神過勞は其原因で其他の原因としては酒茶珈琲房事過度の惡影響や大病後の影響兩親の老婚や大酒癖の遺傳影響抔であるが茲には容體を詳說して參考とする。

▲世事に繁勞の人及學生 俗に神經質と云つて、よく細かい事に氣がつき潔癖で穿鑿癖の強い人があるが男女共に神經衰弱症にある人は通じて此傾向を持てゐる。それで猜疑心や嫉妬心が人一倍に強い。其くせ意志が薄弱で何事をしても中途で厭になつて止めて了ふ。つまり根氣が弱く倦き易く氣が變り易いのである。社會によく見る例であるが世事に苦勞の多い人がコセ〳〵とよく立廻りながらそれ程の成功をなし得ないのは此症狀のためなのであつて、學生なぞにもかなり諸事に敏捷でありながら學業には何うも成績がよくないなぞと云ふ人があるが矢張此病氣の此症狀の致す處なのだ。是等の人は此運命を以て天性已むを得ずとしてゐるやうであるが大きな誤りである。實に是腦神經衰弱の恐るべき點である論より證據先づ斯かる人々は健腦新劑レーベンを攝取して其處に生ずる眞正の健腦狀態の愉快さを經驗するがよからう。又更に次の諸症狀を現在の自己にあてはめて見て成程と頷かるゝならば、そこで健腦劑レーベンの必要があらう。

▲頭痛、逆上、不眠症▼ 先づ多いのは頭重、頭痛、逆上、頭内朦朧次は耳鳴、不時の眩暈、眼の疲勞視力減退で些々たる讀書にも眼が茫となつたり熱を起したりするそれでよく胃病とも誤る即ち消化不良食慾不振で何を喰べても不味で便通は不整になる秘結する。それから最も困難するのは夜床についても妄想勝で眠れない事である。其くせ晝間事務中に眠氣を覺ゆる欠伸の連發をする斯かる不愉快な生活にある人々を救はんとして居るのが即ち腦神經衰弱良劑レーベンの偉力であつて[illegible]腦劑レーベンに就ては森醫學士及陸海軍[illegible]明或は推奨して以て第一に腦の要素リンサンを多く含み第二に米麥常食の日本人體質に最も適せる植物性製劑たり第三に製劑法最新式完全なりと云つてゐるので敢て赤冗説を要しまい。

▲處世成功の大暗礁▼ 本病の症狀は以上の外に記臆力思考力判斷力の減退計算不能讀書不能なぞに及び色慾異常生殖器障害等に迄至るのである。斯くて本病の如何に恐るべきかを理解されたであらう。苟くとも如上の一症でもあつたなら其人は處世立功を妨ぐるのである世の生活戰は愈々烈しくなる健康明敏なる肉體と精神之れ社會の只管に求むる處なのだ。劣才者は直に秀才者に地位を奪はれて了ふであらう。將來愈々多幸ならんとする人は勿論現在世運の非なるを歎ずる人は猶更の事よく〳〵自己を反省して以て、この忠言によるべきである。

▲一瞬の決百世の悔▼ 鐵は赤き中に鍛ふれば飴の如く自由になるが固く冷たが最後あんなに頑固になる。病も其如く輕い中なら如何な難病も治し得るが重つてはつまらぬ病も治り難い。病に對し世人の多くは輕き時粗末にし重くなつてから急に騷ぎ立つの愚を演じてゐるが、腦病や神經衰弱の如き症狀が複雜で紛らはしく本人に自覺されないやうな病は殊に多く其傾向がある。現に今日吾人の發行せる『腦神經衰弱治療書』『精神療法』の贈與を受けた百有餘萬の人の過半は皆其書を見て始めて成程さうかと頷いたであらう、頒布所は東京京橋區弓町廿二弘濟院、中南定太郎氏であるから其處へレーベン藥用の如何を問はず遠慮なくハガキで申込んで戴きたい。直に無代贈呈する、早速申込れよ一瞬の決は諸君の一生の運命を岐つのである。

年々廢つて行く朝鮮の書堂
仁川と學徒＝階級的觀念が強い

仁川府内にて當溝私塾、明新私塾、嘯吹精舍、角山書屋、觀海私塾、止仁齋等を始めとして少きは五名多きは三十名を收容する書堂が二十箇所許りある

◆舊正前の調査　に依ると此等書堂に通ふ學徒は二百數十名に達して居るとの事である、書堂は大抵舊歳末から十五日迄休んで六日頃から塾を開く事になつて居るが此の塾開きは學校の所謂新學年開始とでも通ふ可き性質のもので、學徒の出入は大抵此時期に行はれる仁川には

◆健實な士著民　が尠いから學徒の異動が激しく、從つて書堂の基礎も富川郡其他の地方の如く健實でなく維持經營が年と共に困難になつて行くらしい、塾開き前後になると塾生は勿論古參の學徒は熱心に

◆極力引止策を　講ずる、數年前迄は江華島や富川郡等の田舍から笈を負ふた子弟が遙々仁川に來て入塾した者であるが今日では普通學校や新式の教育を授ける私立學校が出來たので書堂の如きは文明と言ふものを虎列拉菌の樣に恐れて居る者の子弟より外に顧る者はなくなつた、斯うして書堂は年と共に廢つて行くのである、何處の書堂でも學級編成など〻言ふ組織的のものはないが學徒多い書堂では

◆上中下の三組　に別つて千字文や童蒙、先習、小學、通鑑などを次ぎから次へ教へて行く、其處で先生も一々手が廻り兼ねる處から數學年單級の學校が見る樣に上組の學徒が中組に教へる中組の學徒が下組に教へると言ふ具合になつて居るから塾主と學徒の間は勿論、學徒同志の間でも階級的觀念が非常に強くて塾主の如きは鞭三打など〻言ふ

◆體罰を加へて　平然として居り、學徒も此れに對して何等怪しまないと言ふ風だから其他も推して知る可しである、教場と言つても風通しの惡い温突内に十數名の學徒を詰司詰にして明るい文明の光など〻は沒交渉で、眼も届かぬ遠い昔の聖賢を祖述したり、木乃伊の樣な修身齊家の道を温ねたりして居るあたりはさながら寺小屋を今に見る樣であるが酸へた溫氣や

◆惡臭に滿ちて　ゐる室内に全身を左右前後に搖り乍ら雜然騒然聲のあらん限り音讀する處を見ると極て深刻に時代錯誤を諷刺して居るかの如く感ぜられる（つゞく）（仁川支局）

◎木浦消防組歌

二十八日出初式に際し木浦消防組の合唱せる組歌は左の如し

一、數千萬の寶でも　數百千の命でも　アッと云ふ間に灰となる　かんと打出す鐘の聲　すばやく着代る火事衣裳　韋駄天走に飛んで行く　卷くやポンプの砂煙

二、持場持場に氣を合せ　是命是に由つて消されは止め　魂は　ホースの先の水柱　風の助太刀何のその　飛鳥の如く竹梯子　打込む鳶口鋸手斧　腕の腕前今ぞ見よ

三、務めの爲めに盡す身は　焔　煙　も何の其　よや闇を眞中に　不動の樣につき立ちて　流石に猛けき火の手をも　見事に消しお鎮まりぬ　我等の名譽は頭高く　我等の責任輕からず

東西無邪氣合せ

さん子　釜山朝日樓

さん子は釜山の朝日樓の雛妓で今年十四になつた、同樓のおさんの妹分で去年の十一月にお披露をしたばかりの痩ぎすな可愛い子である、生れが廣島だけにダンス言葉を出してはお客を笑はせる、本當の姉さんといふのが鳴戸から〆榮と言つて出てゐるのでお稽古は大分厳しく仕込まれてゐるだけに確かりしてゐる、子供の癖に義太夫が好きで、それから新芝居に活動寫眞、甘い物では饅頭にキャラメルなんどださうである

若千代　京城中券花月

若千代は何時どんなお座敷へ出ても嬉しさうにニコ〱してゐる、お客に何を言はれたときでも笑つてゐる、若千代が頭が痛いと鬱ぎ込んでる時でもお座敷へ出て姉さんたちの晴れやかな顏を見ると一遍に治つてしまふと言つてる、これだから皆から可愛がられる、阿母さんといふのは湖南線の裡里で藝者をしてゐるが、若千代も精々勉強して早く一本になるのが望みだといふ、今年十五になつたがお稽古は舞より鳴物より三味線が好きだといふ

◆この頃、子供の顏に
こんな皮膚病が流行する

此頃の樣に寒氣が加はつて來ると皮膚病が發生します、殊に皮膚の柔かい小兒達は顏面をはたけやたむしに冒されたり

◇頭部に　白くもが發生したりする事が多い樣ですその原因は小兒達は多く外氣の冷たい所に出てゐる時間が長いので乾燥しきつてゐる

◇空氣に　觸れると其中に含まれてゐる黴菌が直ぐ皮膚に附着してそれから次第に擴がる、それを攫はずに矢張外に出て遊ぶ事が多いので

◇病勢が　益々强くなる許りか外の小兒達に傳染する樣になります、それでなるべく早く手當をすればよいのでありますが、それには是等の黴菌は濕氣を忌むものですから

◇顏面の　肌の荒れ易い人などは殊に注意して顏を時々潤す樣にする。若し幼兒であつたらば親が氣を付けて顏を洗ふ時にグリセリンを

◇微溫湯　の中に二三滴垂して洗つてやります、又既にはたけやたむしが出來てゐれば朝一回と夜一回微溫湯で顏を拭ふて後に動物性のクリームを塗つてよく擦り込む樣にして置きます、又頭部はこれも風に晒され過ぎると

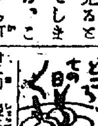
◇黴菌が　付き易いものですから白くもなどの發生しない樣にするには油を塗つて時々頭を摘んで置くと宜敷い、又白くもの後は往々毛髮が脱けて見苦しくなるものですが、これは放任して置いても後から發生致します。

神社とお寺と教會

◎浮城會俳句會　二月三日（土曜日）午後七時より浮城會二月例會を長谷川町工友倶樂部内にて開く會費五錢にて來會歡迎の由

◎神理教會所（南山町三）　三日午後七時より節分大星祭並に金曜刀神事執行

◎西本願寺（若草町）　一日午後七時より執行あり



▲ぬた　平目を三枚におろし皮を引きお刺身の如に適宜に切り鹽をふり置き若布を水に注け柔らかく成りし處を分位に切る　獨活は皮をむき細に切り鹽水にて洗ひ絞り前の平目を酢にて洗ひ其殘り酢にて若布と獨活を洗ひ一方に芥子と白胡麻を摺り味噌を加へ再び能く摺り酢にて程よく延ばし裏漉にかけ倘酢にて程よく延ばし前の三種を交ぜ器に盛り上には紫色に白髮獨活を添へて用ゐます

商況

東京公債直取引（三十日）

五分利	九四、七〇
五分特別	―
四分甲	―
一回四分	八二、三〇〇
二回四分	八三、三〇〇
甲五分	九四、七〇〇

深川在米特電

三十日現在高	
朝鮮米	一六四、八七七
内地米	九七、四三六
混米	一、七八五、八八二

東京期米特電

三十一日前場	三月限	後場
寄付	六、六五七	―
高値	六、六六〇	―
安値	六、六五二	―
止め	六、六〇〇	―

大阪株式（三十一日前場）

銘柄	拂込	二十九日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	六三、五〇	―
神戸電鐵	五〇、〇〇	―	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―	―
和歌山電	二五、〇〇	九一、八〇	―
合同紡績	五〇、〇〇	―	―
絹絲紡績	五〇、〇〇	一三〇、五〇	―
同上新株	二五、〇〇	七一、七〇	―
東洋精糖	五〇、〇〇	―	―
大阪商船	五〇、〇〇	一三〇、〇〇	―
日本郵船	五〇、〇〇	一三〇、〇〇	―
大阪米穀	五〇、〇〇	二三六、〇〇	―
東京新株	二五、〇〇	二〇九、〇〇	―
大阪新株	五〇、〇〇	二三六、四〇	―

大阪期米特電

三十一日前場	納會
寄付	一六、四四
止め	―

下關期米特電

三十一日前場	當限	中限	先限
寄付	―	一五、三四	一六、〇〇
高値	―	一五、五〇	一六、〇〇
安値	―	一五、二八	一五、八〇
止め	―	一五、五〇	一五、九〇

雜報

◎麥粉は軟弱
内地市價は高値
約四十五錢の下値
粉共に高値より約十錢乃至十二三錢方の低落
底入

◎木炭界頓挫す
取引の一圓五七錢小賣値一圓二十錢乃至二十五錢といふ高値

今日迄に約一萬俵
内外の廻著
大に動搖　一萬俵内外許

◎朝鮮紙の近況
多少の騰貴を告げ

◎朝鮮產漆液
需用增加
之が栽培產出に就て

京城正米

上米	一二、三〇	中白上 一二、三五
中米	一一、九五	中白中 一一、九〇
下米	一一、五〇	中白下 一一、五〇

南大門の廻穀

◎消化容易　なるも既に倍近に逹せるのみならず其反響は比較的大

十錢以上を引下げ小賣又五錢乃至十錢近く値下

地方高の奇現象

◎砂糖荷動き鈍狀
維持　輸出糖割安

◎粉米は不味
殆ど地場需要

森仲買店
仁川海岸町三丁目　米豆取引所仲買人　本宅電話八三二番　電話店用長九〇五番

仁川現物市場

▲穀入津なし　▲正米入津なし　▲大豆入津なし

釜山市場（三十日）

生魚市場

仁川期米

◎三十一日前場
寄十六圓四十四錢
大阪天候雪前
昨止より一錢安の入
電二節四十五錢の移り
十九錢と安移りに大阪五節三
出來　大混戰を演

市場小變動
市場零聞

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人　電話一三二番

▲前場の手振
▲三能く賣る
▲人能く賣る
▲平能く賣る
▲三能く買ふ
▲全能く買ふ
▲⑦の商内

十三圓の大關門
忽ち跳ね返し
打破氣勢

▲⑦の商内
▲①の商内
▲平穩納會

十三圓十八錢の高値
押十二圓九十錢

雄賀　廣澤宗太郎
仁川海岸町　取引所仲買人　電話一六〇番・六二二番

迅速

大阪の三度軟弱
大關係　仕手の如何に
▲新甫内氣配
上の薄鞘見當　無鞘乃至五錢

仁川米豆取引所

	寄付	高値	安値	止め
三十一日の三月限	十三圓〆八錢	十三圓〆五錢	十三圓丁〆	十三圓〆八度

賣買取組高

一月限	納會		
二月限	五萬九千百石	一三、一〇七	七安
三月限	八萬三千三百石	一三、〇一〇	二安
三十日後場		一三、〇〇七	一安

北濱だより

▲回復の初一歩

朝鮮總督府許可
人蔘直取引大販賣所
人蔘エキス　滋養藥　藥餌製造本舖
病鮮名產一切
京城本町二丁目
津村兄弟商會
電話一四八〇番　振替京城三五一〇番
▣内用　精　効能　神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔病、子宮病、營養不良、病後起る諸病の滋養强壯劑なり
▣外用　精　効能　神經痛、火傷、凍傷、切傷、打物、傷、腫物、肩の凝、時に筋の脹れ等によし
定價　六十錢　一圓二十錢　二圓五十錢

東京米穀商品取引所仲買人
〆野瀨久次郎商店
東京市日本橋區蠣殼町一ノ二
電話浪花（五一〇二・五一〇三番）・九二一番・二〇四番
發信電報略號（シメ）ヌハメ
受信電報略號トウケイシメ
振替貯金口座二二四一〇番

古代雛
白酒
釀造元　大阪西成郡傳法町北四丁目　岸田民助本店　電話土一五九番
大阪市西區靭北通二丁目　岸田販賣店　電話土二四〇五番　振替大阪二二六六番

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る
（御望み次第銃砲名例へば獵銃とかピストルとか空氣銃とか及其付屬品等御申込下されば定價表郵呈）

支店
龍山元町二丁目
京釜線大邱驛前
朝鮮釜山大倉町
電話三九四番
龍山支店　大邱支店　釜山支店
其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之御地方は直接本舖に御注文次第迅速に發送可仕代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候本店支店共市内は御一報次第配達に

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城
振替貯金口座　京城三三一三番
電話（四）三三一、一〇六、一二六〇、一六一、一二六一、一三三二、一二六三
支店　出張所　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、鎭南浦、新義州、會寧、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話一八四一、四五四、九四番
振替京城五七番

新築移轉
明治町二丁目
產科婦人科專門
中央婦人病院
（手術室病室各等完備）
院長　衣笠
電話二三四〇番

朝鮮總督府法律商業學校講師　西村眞太郎著
朝鮮語會話
受驗者必携の資料◎珍總クロース四百頁燦美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に説き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解説者たり是非一本を備へられよ
定價金八拾錢　郵税六錢
賣捌所　京城日報社代理部
京城大平通二丁目　振替京城三〇〇番
大取次　大阪屋號　日韓書房　巖松堂　各地支局書肆

優等清酒
福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店
電話一〇九番　振替口座四三九番

汽車時間

[illegible]

明君道中記

第四十六席 田邊南龍口演

老中松平伊豆守より彼の曲者を江戸に送れと長崎町奉行神尾豊前守に沙汰になりましたから、早速長崎より丸駕に乗せて手附の者十五人にて警護いたし、途中に間違ひの無い樣にと心附け日を重ね泊りを重ねて江戸表へ著いたしまして、是を引渡しましたから伊豆守より將軍家へ委細を申し上げて當日は柳營吹上の庭上にて此者を調べることになりました。正面には御簾を垂れ其の内に家光公御著座、左右には老中若年寄御側衆評定奉行寺社奉行町奉行大目附御目附御小姓御納小戸御小人に至るまで天下の役人綺羅星の如くに居流れる鞭て引出したのは繩附の儘なる彼の非人、石出帶刀の家人に神尾豊前守の手附の者が後に控へて居りまする此時老中松平伊豆守前に進み 伊『コリヤ非人面を上げイ 非『ハッ 伊『其方事關暦待の名香を所持いたし居つたる由、前年將軍家御上洛の砌箱根山中湖水の邊りより砲發いたしたるは其方であらう、天命を知つて明に白狀いたせ』と言葉の終らぬ内に彼の非人は大口開いて打笑ひ 非『當時長澤の松平伊豆守といふお方は明智の聞え高く我亦只今まで天晴器量あるお方と思ひ居りしに、聊やはや見ると聞くとは天地雲泥の相違、武士たる者を調べんといたすなれば其の法もあるべきに繩附の儘にて我を引出し、眼下に見て非人〳〵とは何事ぞ、武士を扱ふ法を知らんといふもの、非人と見込みのついたものならば非人といたして不淨役人に取調べさしめ給へ老中の御身が取調べるには及ぶまい、イヤはや笑ふに堪へたることである』是を聞いて伊豆守少しく怒りの面色にて 伊『默れ、身の程を知らぬとは汝のこと、身に襤褸を纏ひ莚を被て居れば誰が見ても非人であらう、非人と申したが誤りであるか 非『愈〻以て愚の一言武士たるものが非人の姿になるは今更珍しきにあらず。御邊知らずや秦の豫讓は智伯の仇たる趙襄子を討んが爲め炭を呑んで聲を潰し漆を塗つて面體を變へ衣を裂いて怨みを晴した古例もあり、又我朝にては惡七兵衛景清賴朝を討んが爲非人の姿に身を窶して狙ひし例もある、我に白狀させんとならば武士の扱ひをいたして宜しからう、左もなくば決して口は開くまい 伊『重ね〳〵不禮の一言白狀いたさぬとあらば拷問にかけても云はして見せる 非『責めに苦しんで白狀いたす樣な者ではない、骨身が碎けても決して云はん 伊『オー宜い覺悟ぢや、コレ誰かある此奴を引立て拷問に掛けイ 〇『ハッ』と役人共が立かゝつて彼の非人を引立やうとする時に御簾の内に聲あつて 家『コリヤ伊豆控よ 伊『ハッ 家『此の曲者は予が取調べて遣はす』と仰せられて御簾の内より立出られ緣端に御進みに相成り 家『コレよ申し付け置いたる用意の品を此處へ持て』ハッと答て其處へ持出したは白き三寶の上に短刀を添へて白綾の御小袖の片袖を載せてある家光公は 家『コリヤ非人、其方儀は予に遺恨を含み居る者と思ふ依て片袖を遣はすによつて其の衣を裂いて怨みを晴せ』と聞いて非人は頭を低げ 非『偖こそ秦の豫讓になぞらつて我が怨みを晴させ給はるか、然らば此の衣を裂いて怨みを晴せし上我が身の素性怨みの次第を言上いたすでござらう』乃で繩めを解かしめたから彼の短刀を取つて三刀衣を裂いて大いに喜び、右の短刀を其處へ置くかと思へば左の脇腹へブツリと突立てました是を見て人々驚き止めんとするを打拂ひ、片手を大地へ突きましたが、偖此の非人は何者であるか次回に詳しく申し上げます

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

齒科診療
往診（市內ニ限リ）（往診無料）正午迄
自宅 正午ヨリ午後九時迄
京城南山町三丁目一番地
齒科醫 楢崎東陽 電話一三六〇番

京染 呉服
永樂町三丁目 たまや出張店 電話一一九六

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

二月二日 九紫
舊正月十一日乙亥
本命九紫 南 開 大安

▲九紫 恥を恥とも思はぬ事ある日新事 見合西方は吉 晴劍術▲一白 丁度にゆかぬ事有る日新手拵物事は吉 又散財を防がるべし▲二黑 種閣諸の日轉居入學修普吉 女子は思はぬ良縁か得る 殺も有望の日也▲三碧 即 認 叶ふ不圖立身出世の道に出づ萬進で大利有 待人來る▲四綠 笑臨なる日移居開業入門 名弘 命隊結組 覚命 除 等萬吉▲五黃 思はず薬を施て 大いに徳を得ること有り萬進で吉 殊に憑算を創るに妙▲六白 失へきらぬ斷有り 新事手拵術は吉 女子は料されぬよふ用心の事▲七赤 女難火物用心の日 新事手拵種事 費徹は妨なし▲八白 懐合のよき月轉居旅行入學名弘求職命件婚禮先を見越たる 上にて進む事 [illegible]

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マデニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ有學齢兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日
朝鮮總督府府尹 金谷充

演藝案内

御成座 壽町 電話二九一
二月一日晝間 中村梅昇一行
△狹間合戰△石川五右衛門傳△隅石川法界坊
[illegible]

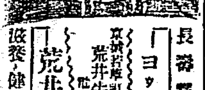
壽館 京城壽町 電話一〇五〇
●獨流浪花節教育的讀物
○三十日讀物 ○明烏十勇士續（原辰男）○一休和尚
○綴（吉川辰見）○法延の血の涙 ○水府公（長講二席原晴風）○村上喜劍 ○同 讃き（長講二席原晴夢）
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
△一月廿七日より提供の大喜劇 △米國キーストン會社傑作 ○滑稽活劇デブ君の最後 全二卷 △英國ヴイクトリヤ會社近作 ○探偵大活劇死の道 全三卷 △溫厚愼實なる [illegible]
△寶父危篤の報に接し △立花貞二郎 ○新派大悲劇『亂れ髮』全三卷
△尾上松之助一派出演 ○寬永馬術の名人『曲垣平九郎』全三卷
[illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
○大阪親友派浪界之別格 竹川馬生一行再び出演續物
當る二月一日より六日間日延なし
△義烈白梅（一夫）△四ツ谷怪談（廣駒）△百文中の二（光若丸）△向井善九郎（糸奴）△忠臣義士、水府公（馬生）
△毎夜五時半開演仕可候

黃金館 早川直營 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社特約 一手代理店
二月一日より提供の三大寫眞
▲大阪パテー支店傑作十二編廿四卷 世界的大冒險大活劇 △終編魔海 十一編十二編 [illegible]
△新派悲劇『花吹雪』全八幕 △『寶藏院覺禪坊一代記』『寬永御前試合』全五十七幕天下の勇士の勢揃ひ
[illegible]

外務員募集
人に局に適應したる空前の企にして何人にも頗る容易に出來得る職務なり各府縣に確實なる數名を限り招聘す 月收百圓以上 希望者は郵券五錢送れ
京都市烏丸頭駐在所前 致富同盟會

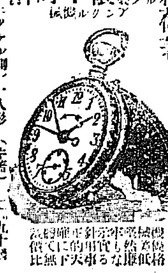


長壽藥品は「ヨーグルト」
滋養・健康の母は「荒井の牛乳」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇四番

ナイスの五大特長
（一）タツタ二十分で完全に染る。
（二）艶々黑く自然の髮に優る。
（三）襟、枕に汚損せずサラ〳〵し。
（四）一度染めて洗ふて剝げず。
（五）用法至極簡易便利なり。

價 大瓶 金七十錢 小瓶 金四十錢 男子用 金三十錢
發賣 大阪、東京 丹平商會藥房
全國各地の藥店小間物店に販賣す

七日以ケ經つ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小瓶 二十錢 徳用 四十錢
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す
送料內地八錢 滿鮮卅錢 臺樺卅錢
東京神田和泉橋際 松本藥店


新荷著 懐中時計
[illegible]
右は今回新荷著の商品にて本商會獨り之れを取扱ひ居候 御注文に對しては代金引換にて御送付申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
本店 京城本町二丁目 イングレッシー商會 電話九七二番

お化粧の順序
美人 クラブ頰紅 クラブ白粉 クラブ洗粉 クラブ粉白粉 クラブ美身ゼリー

お化粧の仕方

第一に
石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な
クラブ洗粉で丁寧に顏を洗ひ

（第二に）皮膚の艾を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顏へ掛て塗る 荒れ性の方ならば一番よくきくアレ止茶用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ能く擦込んでから濕タオルで拭取る
（第三に）生地まで白くなるクラブ白粉をつける（薄化粧にはクラブ水白粉）
（第四に）牡丹刷毛で白粉を伸ばし水刷毛で均らし濕タオルで抑へて白粉を落付ける
（第五に）お顏にホンノリ櫻色の健康色を與へるクラブ頰紅を目の下から頰へかけて薄く刷く
（第六に）お化粧を引立てるクラブ粉白粉を梟刷毛に含ませ柄の力を輕く叩いたので顏から襟へかけ能く刷き均らすと高尚で美しいお化粧が出來上ります

京城日報

第三版

二月一日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

歐洲大戰と興亞策(九)

日支提携の好機會

頃者支那の政治家にして日支親善論を唱ふるもの少なからず。孫文曰く、日本にして已れの欲する所を支那に施さば、支那は道徳的に日本に報酬せざるを得ず。此の道徳的結合、推理的結合に由りて、始めて大に日支親善の徹底せるを看るを得ん。唐紹儀曰く、日支兩國の關係に就ては、互に理解する樣努力せざる可らず。決して耳を外國の言に傾けず、誠心誠意、互に『アンダースタンヂング』を得ることに努力せざる可らずと。支那政治家の覺るや、太だ遲しと雖も其言や太だ善し。然れども、日支親善は決して空言の能くする所にあらず。必ずや實行の之に伴ふにあらざれば、其の効果を奏すること能はざる也。

日本政府は東亞の大局に鑑みる所あり、今回、前内閣の懸案たる鄭家屯問題を打切りて、先づ其の誠意の在る所を支那に表明したり。支那たるもの宜しく其の方針を確定して、日本の誠意に答ふる所無かる可からず。其方針を確定して日本の誠意に答へんと欲せば、宜しく歐洲の文明に心醉して列强に叩頭する態度を一變せざる可からず。列國の術策に倚賴して同文同種の日本を疎んずる政策を改善せざる可らず。齊に事へん乎、楚に事へん乎の態度を一變して、日本と共に一致し、日本と共に行動し、日本と共に提携するの針路を確定せざる可からず。苟も其方針及び態度にして確定するに於ては、宜しく之を具體的に實現せしむるの道に出でざる可からず。是れ寔に支那が禍を轉じて福と爲し、危を變じて安と爲すの道にして、東亞百年の大計亦た之に外ならざる也。

支那にして、果して日支提携の方針及び態度を確定し、之を具體的に實現せしむるの誠意あるに於ては、我が日本も亦た誠意を以て之を指導するを辭せざる也。日支提携の方針既に確立し、我が日本にして善く之を指導するに於ては、支那は日本の勢力に由りて其の紛糾せる内政を振作するを得べく、其の紊亂せる軍政を統一するを得べく、其の既に窮乏して收拾すべからざる財政を整理するを得べく、始めて統一あり精神あり機能ある國家的基礎を建設するを得べし。而して極東に利害する列强も亦た日本が機會均等、門戸開放の主義を尊重し、誠意を以て支那を保全するの意思を諒會するに於ては、必ずしも絶對的に之に反對するものにあらざるを信ぜざるを得ず。況んや眞に善く支那の國民性を解し、其の政治を改革するに適するものは、歐米列强にあらずして我が日本に在るに於てをや。又況んや歐洲大戰の今日、事實上聯合國に代りて獨力支那に於ける領土保全、平和支持の大任に當りつゝあるに於てをや。

歐洲大戰以來、眞正なる日本の國論が對支問題の根本的解決を要望して止まざる所以のものは、他にあらず、日支提携の大方針を確立して、支那の復活支那の振興を圖り、東亞永遠の平和を擔保するに於て、千載逸す可からざるの機會たるを以て也。吾人は日支兩國の政治家が此の機會を逸する無く、速に之が方針を實行に顯さんことを期待せざるを得ず。機なる哉、機なる哉、此機に投じて興亞の大計を立つるは、是れ豈に今日の最大急務にして、兩國經世家の責任にあらずして何ぞ。

●鑛業の開發と地質調査(三)

地質調査の應用及び世界重要國に於ける其の調査機關

鑛務課長 村田素一郎氏談

地質調査の應用(續)

元來各種工業の原料たる鑛物は農産物、林産物又は水産物とは全然其の趣きを異にし一國土内に於ける天賦の數量は既に一定して之を增殖すること絶對に不可能なるものにして之を採掘するに於ては逐年天賦の數量を減じ將來全く之を存せざるの時期に到達す可きを想像するに難からず。

既に日本内地に於ても數種の鑛種は漸々減少して今や盛況は只之を過去に於てのみ見るに到りしものあり茲に於て領土内に於ける有用鑛物の品種、品質及び鑛量を確定して國家百年の鑛業政策を樹立し之を有利に開發して遺利なからしむると共に其の他の鑛物の利用を研究して人生の福利を增進するに勉めざる可からず、之れ晩近世界各國が競ひて此調査機關を新設又は擴張する所以なりとす農林業に於ても其の利用し得可き陸土の廣袤には限りあるを以て社會の進運と共に其の産物の增殖に勉めざる可からず、而してこは土性を究めて植物との關係を明かにするを以て其の根柢とせざる可からず、土木事業に至りては豫め其の地盤の性質構造等地質調査の概要なるは言を待たず隧道の崩壞、歪曲、橋梁、防波堤の陷落、工事の冗費等其の地盤調査の不完全に歸因するもの少しとせず又た地上及び地下水利用の發達著しき現今に於て其の調査の忽にす可からざるは先進國の地質調査事業中用水調査の勃興せるを見るも之を了解し得べし、要するに地質調査は吾人の棲息する地殼を究めて陸産物の發達を促し且各種事業に必須なる原資を豁かにし以て其の基礎をして鞏固ならしむるに在り

「大正の青年と帝國の前途」を讀む(二十七)

大谷光瑞

大正五年十二月十二日上海に於て

往昔は如何、露國百萬の師を持て侵凌至らざるなし、既に滿洲に踞し、朝鮮を掩ひ、進で直隸河南に馬を進めんとす。此時に至ては、我帝國の存立は、東洋の平和と共に危し。故に我は毅然敢立、彼の强大を恐れず、遂に彼を屈せり。而して一朝和成るや、宿仇を忘れ、朋友の如し。我帝國は、東洋の平和と、幸福の危きに瀕せんか、決然干戈を執るを辭せず、否ざれば、常に百萬の强兵を擁するも、毫髮の微も動せざるなり。我の欲する所は、四海兄弟なり、何ぞ侵略を欲せんや。然るに疑心多く、暗鬼を生ず、鬼の來るに非ず、鬼を是れ招くなり。若夫れ彼等侵略を事とし、東洋の平和と幸福を攪亂せんか、海に陸に、我百萬の精鋭は、立ろに殺到せんのみ。是彼等自ら招くの罪にして、如何ともする能はざるなり。蘇峰先生は、我帝國の執るべき亞細亞主義を以て、大乘的使命と云へり。寔に然り、不肖是の以上に一言をも挾むの要なし。北米合衆國モンロー主義を唱道するも、決して加奈太、ホンドラス、ジャマイカ、バハマ、バームダより英國を逐ふの謂に非ず。マルチニック、サンピエル、ミクロン等より佛國を逐ふの謂に非ず。豈獨り我帝國を危險視するの謂ならんや。次に亞細亞に於て、我民族以外に我を嫉視するは、支那を最とす。是れ頗る奇怪なり、然れども事實は奇怪なりと雖も、否定する能はず。是の原因を探るに、遠く日清戰役に發せり。日清戰役以前に於ては、支那一般我帝國を以て、自己の附庸と思へり、而して戰つて是に敗るゝに至つては、愕然其所を知らず。後團匪の事起るや、再び我合の打擊を與へたるは、我陸軍なり、是に至て我を恐れ、我を嫉む、而して列强を援けて、我に抗爭せしめ、以て我の支那に乘ずる能はざらしめんとせり。是に於て日露の戰役を生ず、我强露を挫て以來、彼等爲す所を知らず。而して我に留學せる支那學生の郷に歸るや、新學一齊に勃興し、從て革命の機運又熟す。此時武漢事を擧げ、滿淸顚覆、革る。而して袁世凱巧に寡婦、孤兒を欺き、簒奪を爲すや、我民心是を憤らざるなし。而して是に先ち、我帝國朝鮮を合併せり。袁は是を以て、國人を欺き曰く、日本は必ず中國に擬するに、第二の朝鮮を以てせんとす、各戒めざるべからずと。公敵は、日なり、百方之を告げ、國民の心裡に刻めり。而して歐米人等亦自己の利益上、我民族の支那に入るを惡み、附和雷同、相依り、排日を以て、支那の國是とするを以て、而して去年五月、日支交渉あるや、枯草に油を濺ぎ、火に放つ如く、殆ど全國を擧けり。彼半歳ならざるに、雲南先叛し、袁世凱遂に死し、以て今日に及べり。

政變と國民の自覺

一記者(投寄)

今更語勢を強めて力説するまでもなく、我が日本は僅々半世紀間に過去三千年間纏ひ來りし舊套を、恰も弊履を棄つるが如くに脱ぎ棄てゝ、日本の日本より東洋の日本となり、更に一轉して世界的日本となりしなり。其列强間の格に於て、其政治的勢力に於て、其經濟的地歩に於て、殊に其軍事的實力に於て、孰れも世界列强の仲間入して些の遜色なき有樣とはなりぬ。即ち我が帝國は茲に凡ゆる方面に新正面を拓き新裝せる世界的錦衣を纏ひ、現代的風潮を帶びて、五大洋六大陸に向つて活躍なし得べき千古の好機を捕へ得たるものなり。此秋に方つては、上下一致、想を國家の將來と國民の前途に致し、遠慮深謀以て今後に於ける的確なる方針を定め、其實行に全力を濺がざるべからざる重大時期にして、國内に於て政變を重ね政爭を繰返すべき悠長緩漫なる季節にあらざるを感ぜずんばあらず、然るに近年連りに政變續出するものを見る、國家の不祥國民の不幸是より大なるはなし。殊に今回の政變の如き、政變を惹きおこし政爭を醸すの必要なきに、徒らに平地に波瀾を起せしやの感なくんばあらず、我國の政治家は動もすれば憲政を口實にし、政黨に基礎を有せざる内閣は頭より憲政を無視し國民を蔑するものとなし、種々の口實を作りて内閣の轉倒に狂奔する傾あり、是れ現代の政治家の戒むべく慎むべき事にして、所謂今の政治家が唱ふる如く憲政なるものが、神速に理想的に進行せらるべきものにあらず、何故となれば、我が國の憲政の布かれて以來僅々三十星霜、之を英國の七百年、米國の百四十年に較ぶれば、猶ほ九牛の一毛に過ぎざるなり、現代の政黨者流の如く、英國の憲政に倣ひ、米國の政黨を看よとて比較を英米に取らんとするは無稽も亦た甚だしと評するの外なし、プラトンは曾つて『多數政治は衆愚政治に陷り易し』と謂ひしが、日本の現狀にして此儘に推移せん乎プラトンの此の言に一個の好適例を與ふものと謂つべきなり。先憂後樂の國士は起つて、此政界の頽潮を救濟し、國家の向ふ處を定め、庶衆の進むべき正當を示さざるべからざるを切に思ふ。

今や眼界を轉じて諸外國を觀るに、世界列强の大部分は交戰狀態に在りと雖も、其交戰各國は單に現下の戰局に當るに如何になすべきかを考案しつゝあるのみならず、戰後に於ける經濟戰にも亦渾身の意を用ひ、準備おさ〳〵の態なり、試に其二三に就きて考慮せんか、蓋し思半を過ぐるものあらん。即ち佛國は昨年以來その戰後發展策に力を致しつゝあり、就中政府に在りては、其れがため新に取調の役所を設けて研究しつゝあり、國立貿易事務局と植地事務局とは其尤なるものならん、前者は商業記錄なる機關誌を發行して戰後の對外貿易發展に關する研究を發表し後者は植民地並に保護國内の市場より戰後、如何にして獨墺の商品を驅逐すべきかを講じつゝあり、英國は戰後に於ける内政問題を研究し之れが救濟策を考慮し、戰後何等後顧の患なく對外策を遂行せん事を念ひ居れるもの、如く、其手初として勞働者の窮窘を計らんが爲め『疾病に關する豫防及び救濟委員會』を新設し、皇太子も該會に心を寄せられ、『國民救濟資金』の募集をせさせ給ひつゝあり、又皇后陛下は戰後の婦人問題に想到せさせられ『婦人の資金』に對する女王の『働』といふ名の下に婦人救濟のため資金を蒐集するに力を濺がせらるゝ耳ならず、民間にて『婦人職業委員會』を組織して其解決を急ぎつゝあり、露米諸國も亦同樣にして、孰れも戰後の經濟戰に十二分の準備を爲さんとしつゝあるあり、即ち露國は米國の資金を仰いで西比利亞開發を試み、更に蒙古に侵及せんことを計畫し、其一著として、今回新に紐育アルハンケリスク港間に定期航路を開かんとして協議を重ねつゝあるが如き露國が如何に强烈に戰後策を講じつゝあるかが洞察せらるゝならん、又米國は露支兩國に資金を貸與する外、南米發展策として昨冬丁抹領西印度諸島を買收し、今また南洋のグアム島、比律賓群島に海軍根據地を設くる等の議もある位にして戰後に於ける軍事並に經濟策は識者の考慮を煩しつゝある譯なり、然るに我日本は戰後の大問題に力を致さず、内爭を事とし恬として顧みざるは怪訝に堪へざる所なり。惟ふに、政變程損失はあらざる可く政爭程馬鹿らしき騷ぎはあらざるべし、何どなれば政變は外、列國の侮を受け、内は國家行政事務の澁滯を醸し、又國民を其渦中に招來して彼等の事業と計畫とを阻害せしむればなり。茲に於て乎、國民の遠慮深謀を要すべき一事は、國民の選良として議場に送るものは須らく人物本位ならざるべからず、今の國民にして國士を選出し之を議政壇上に送るに於ては、今日の如き政界の革新さるゝに於て多大の効果なくんばあらず『過去は過去として葬りされ』と新英洲の平民詩人が謳ひし如く、吾人は最早過去を追懐せざるべし、翼ふ所は將來の問題なり、過去半世紀間に贏ち得たる我世界的地歩を放棄するも、進んで國民的光榮を增すも、かゝつて國民の上に在り、自重すべきは政治家なり、自覺すべきは國民なり。

◎大陸第一の大雜誌二月號出づ◎

朝鮮公論

◎口繪六頁 ◎財界時言 ◎◎公論俯瞰 ◎婆くらべ ▲公論文壇 ▲新作戰江節 ▲六號閑話 ▲京城風俗 ▲讀者の聲 ▲記者會新年會

最も有利なる土地經營法 ▲余が多年實驗の結果を社會に公表す…不二興業專務 藤井寛太郎

人間の志操…國民黨總理 犬養毅

◎戰爭は適者を殺す 秋元子爵

鑛業界(鑛業家の必讀を要む) ▲京城米豆取引所新設意見…▲長谷川總督訓示

李王職次官を辭せる小宮刀水先生…玄波樓主人

大戰後東洋に勃發する經濟戰 政友會總裁 原敬

◎寺内内閣と新艦隊…松岡康毅 ◎京城から岡山まで 欣々史

◎議會解散と朝鮮…荒井長官 ◎實業界新人物 杢助

◎我社に舞込んだ年始狀調べ

總督及都督を議會たらしむべし 政府委員 朝鮮公論社長 牧山耕藏

◎哲人政治と政治家 建部博士 ◎三將軍平生物語…K生

◎煽動政治と國民 高田博士 ◎總督府官人論 有馬水

◎鮮滿法政大學閥…泰山生

半島開發上の新問題を提供す 鮮銀總裁 美濃部俊吉

興國民族海外發展の目的は何か 農法博士 新渡戸稻造

◎朝鮮貿易と新航路 原田朝郵社長 ◎新設さるべき朝鮮製糖會社

倭冠の歷史と李王家 伊藤[illegible] 近來の快文字

◎冬季に警戒すべき病氣…森安博士 ◎小原新三氏曰く ◎富田儀作氏曰く

役人から實業家へ 京畿道長官松永武吉氏外數名の各道長官が刻下の急に促されて管内の實業家を鞭撻叱咤する凱切緊要の大文字…(十數頁)

一冊廿五錢 六冊前金一圓四十五錢 十二冊二圓八十錢 郵税一冊一錢五厘 ◎内地◎臺灣◎支那◎朝鮮各地書店に在り

二大雜誌 購讀申込所

京城太平通二丁目 朝鮮公論社 電話長二四〇〇番、一〇七〇番 振替口座京城一五七七番

京城太平通二丁目 大陸婦人社 電話長二四〇〇番、一〇七〇番 振替口座京城二〇〇〇番

◎內容健實體裁花の如し◎

大陸婦人界

(每號賣切) (好評如湧)

○口繪 鮮關兵に逝る寫眞滿載 ○二月の家庭料理…秋穗餘香

故山室機惠子…女子高等普通學校長 太田秀穗

○私の見た持地ゑい子…東京 山口 ○我家の家憲…司法部長官 國分三亥

深く女を警む…成女學校長 宮田修

○親讓の遺傳…理學博士 山内繁雄 ○戰爭と女學生…成瀬仁藏

○樂しき家庭…八島平三郎 ○戰爭の日本婦人に與へた教訓

○婦人と寫眞…野口村誠二 ○書初…青木喬桐 ○高僧と母の夢…稻田春水

○教會巡り記(京城メソヂスト教會)

殖民地生活と人道主義…主張

○私の此頃…(久水外事課長夫人)久水和歌子 ○女性中の男心か男性中の女心か…工藤忠輔

新らしき女へ…早稲田大學教授 内ケ崎作三郎

○袖の丸みと褄と…明石梅子 ○小學校より家庭へ ○編輯局より ○勿忘草物語

投書雨の如し 奧樣大評判記 石森小蝶說 雪月花…篠原嶺葉

質話 橋本美津子

一時に我子六人 看護した實感…(松寺檢事正夫人)松寺琴子

一冊廿錢 郵税一錢 半年分郵税共一圓四十錢 一ケ年分同二圓五十錢 臺灣滿洲内地各地書店に在り

市にては昨年來角不足勝にて價格騰貴しくブラゴウエスチエンスク市 … 元山地方沿岸に於ける本年の明太漁業は天候の關係により未曾有の不結果を來したるが一方之と正反對に茂 … 注目し居たるものなり而して其成績より大漁なりしを以て明太の漁獲を試み頗 … 推組漁場にては本年は十二月中旬最も良好にして時に一日五十駄の漁獲を見たる事あり一月 … 水揚 … 輸送する等の手 … 要せず漁獲品は … 昨年清津水揚高 昨年中

◎大借款會議と米加入

支那大借款會議は一月三十日より倫敦に於て日英佛露代表者會同し第一回會議を催うしたる筈なるが該會議は兩三回位にて終了を告ぐべき豫定なり尙米國借款團加入は既に四國財團側に於ても異議なき所なれば速かに決定せらるべし而して對支一億圓の借款も亦決定し支那側の希望に依り差當り前渡金交附實行の件を決議するに至るべしと(倫敦電報)

◎日支解決案實行會議

【奉天】奉天督軍は日支交渉解決案實行に關し三十一日大會議を開けり(奉天特電)

◎遣日特使又復變更乎

遣日特使人選に就ては目下日支兩國政府間に交渉中にて候補者二名あり一名は熊希齡氏の復活にて一名は汪大燮氏なるが熊氏は近く石油坑視察の爲地方に赴く由なれば結局汪氏に決すべく氏は既に遣日特使たる事を承諾し居れりと(北京特電)

◎公民大會と警察問題

奉天省公民大會會員等は日支解決案中警察問題の將來を不安に思ひ三十一日會議を開きて討議せり(奉天特電)

◎陸氏奉天著發

陸宗輿氏は三十一日奉天著一日午前一時二十分發南行の筈(奉天特電)

◎馮師長奉天著

第二十八師長馮麟閣氏は三十日夜奉天に來れり(奉天特電)

◎武裝商船米入港默許

紐育夕刊新聞の報ずる所に依れば米國國務省は同國港務官に下附すべき新命令に就き審議中なるが右は各交戰國の商船が船首船尾に砲門を搭載したる儘米國港灣に入港するを默許するにありと(紐育報電)

◎英國クロマー卿逝く

前埃及總督クロマー卿は逝去せり(倫敦電報)

◎內閣書記官任命

內閣書記官黑田欽哉氏逝去に就き其の後任左の如く任命ありたり(東京特電)

群馬縣理事官 正七位勳六等 別府總太郎

任內閣書記官(六等)

◎選擧期日

二十九日の閣議に於て決定せる總選擧期日は三十一日詔書を以て左の如く正式に公布せられたり(東京特電)

詔書

朕帝國憲法第四十五條及ヒ衆議院議員選擧法第二十八條ニ依リ大正六年四月二十日ヲ以テ衆議院議員ノ總選擧ヲ行フ事ヲ命ス

御名御璽

大正六年一月三十一日 各大臣副署

◎有松長官恩命

一月二十五日衆議院に於て有松法制局長官が勅語書を捧持し岡崎翰長に交附せんとする際誤つて之を取落したる件に就き同長官は恐懼措く所を知らず即日寺內首相の手許迄辭表を提出し首相より之を上奏したるに畏くも其の儀に及ばずとの恩命に接せりと(東京特電)

◎政務總監著京

山縣政務總監は卅一日午後八時三十分東京驛著列車にて入京せり(東京特電)

◎滿鐵地方行政 改善を加へらる可し

滿鐵會社は鐵道、鑛業、築港、船舶其他の各種事業と共に地方行政の任に當り沿線附屬地內の教育、衛生及び土木事業を經營し之が爲に地方委員を設け居住者より賦課金を徵收し一種の地方自治を行ひ居れるが從來其の附屬地居住者の多數は滿鐵社員なりし爲め自然滿鐵社員を中心として總ての經營を行ふ結果となり公會堂、俱樂部、圖書館、其他の機關利用に就ても社員本位の傾向あるを免かれざりしところ其後附屬地の發展と共に滿鐵社員以外の邦人も漸次多きを加へ來れるを以て社員本位若くは中心の地方經營は勢ひ之を改めざるを得ざる事となり滿鐵本社地方課にては既に此の趨勢に着目し改善を施す由なるが附屬地內の滿鐵社員中には今猶ほ滿鐵王國の舊思想に囚はれ聞々專橫の振舞に及ぶ者ありと聞けば地方行政改善と共に斯くの如き弊風の一洗も必要なるべし因みに沿線附屬地居住者の增加は延いて學齡兒童の數を增加し奉天、長春、遼陽の如き何れも小學校舍增築の必要に迫られ居る爲め來年度より夫々增築の事に決し居れり(大連)

◎朝鮮貿易(七)

四、輸移出貿易(續) 輸移出品種の增減狀況及び其の因由

▲紙卷煙草(增) 五十一萬九千五百九十九圓の輸出にして三十萬一千二百一圓の激增なり朝鮮に於ける製造業益々發展し滿洲青島方面に於ける販路擴張に努めたると競爭品たる英米煙草會社製品は戰亂の影響を受け對抗上不利の地位に立ちたることも出增の主因なり

▲紙(增) 十三萬三千三百六十圓の出荷にして三萬五千七十一圓の增加也生產獎勵の結果產額增加せしと銀價高騰に因る支那市場好況の結果也

▲生牛(增) 四十三萬五千八百四十一圓の出荷にして九萬七千八百二十七圓の增加なり內地に於ける鮮牛の需要益々增加し且つ歐洲方面に對する移出好望となりたる等に因る

▲石花菜(數量減價額增) 二十一萬七千二百二十一圓の出荷にして三萬七千六十圓を增加せるも數量は二十六萬四千餘斤を減退せり之れ內地に於ては本年不作を唱へ而も寒天市場好況の爲め價格騰貴せしも一面朝鮮に於ける需要增加せしに因る者とす

▲海蘿(數量減價額增) 十六萬六百四十八圓の出荷にして一萬一千百四十三圓の增加を示せるも數量は四十二萬八千餘斤の減退なり之れ本年天候不順の爲め育不良なりしと一方內地に於ても不作の爲め市場暴騰し冥海蘿の如きは前年二十圓臺を唱へたるもの本年は五十圓臺を示すの好況なりし結果なり

◎大陸發展の基礎は朝鮮!

鮮露間の經濟的關係を密接にせよ 新任駐露大使 內田康哉子車中談

逃任の途にある新任駐露大使內田康哉子を西井里驛に迎ふ、其の車中談に曰く

露國で聯合國代表者會議を開くと云ふ電報が來たのか、それはありさうな事だ、既に倫敦で開き巴里で會議をやり最近羅馬に其の代表者の集合を見たのだから今回は

▲順序として露國 に催さるゝのであらう、予は其の會議に就ては何等未だ知る所なく又露都に著くのは來る十日であるから無論間に合ないであらう、東滿線南半部の讓渡問題は日露間の懸案となつてゐるが、然し我輩未だよく內容を知らぬ……其交涉は予がペトログラッドに著た上で續くるか或は東京で駐日露大使と吾が外務者との間にやるか其邊の事は明らかにも云へない、然し如斯問題は餘り新聞などで騷がれぬが好い、條約の調印が濟むまで默つてゐるが悧巧だ、ナーニ露國の輿論が讓渡に反對してゐると!!それは

▲無理はなからう 假りに位置を更へて考へて見給へ、吾が撫順の下にある滿鐵の奉天以北を露國に讓ると云ふやうな事が今回の東滿線問題のやうにまだ事前に知れたら日本の言論界は決して沈默はすまい既に調印が終つたとでも云へば反對の聲を擧げた所で既に及ばぬから論も多く沸騰すまいがね、兎に角此先きどうなるやら解らぬが餘り議論せぬやうにして呉れ給へ、鮮露貿易の將來は大に發達させて欲しい、予等は日本の大陸に於ける發展の基礎は之れを朝鮮に求むるを適當と思ふ、鮮露間の

▲一部は國境を接 し其他は滿洲が間に挾まつてはゐても其の滿洲に於ける互いの權利は接觸してゐるのだから大に鮮人の嗜好を研究し其の求むる商品の輸出を企だて兩國間の經濟的關係を密接にする必要がある、露國に於ける日本商品の粗製濫造に過ぎるとの批難か成程折々聞くが、左樣な事も餘り騷がぬが宜しいワイ〳〵云ふと愈々自國製品の粗製な事を沉く廣告するやうなものだから、無論そんな

▲不德義な商人に 適當の手段で忠告するのはよい唯日本商品の信用を維持し其の販路を永遠に續けんとするには假へば鉛筆の兩端に短い芯を入れて中を空しくして置くやうな事はして欲しくない歐洲戰爭はいつ終局するか、予等の如き局に當る者は多く云はぬがよからう、戰爭終熄後の講和談判地は五分々々の引分けならば巴里が中央で便利だから恐らく同地にならう露國の單獨講和說、そんな事は無論あるまい、又あり得まい、露國も開戰の動機開戰の理由開戰後の

▲聯合國關係等より 見て獨り他國を出し拔いて敵國と握手する如き事は斷じてなからうと思ふ、朝鮮は十數年前仁川から京城に出た事はある又釜山などに寄た事もあるが京釜京義兩線で半島を縱斷するのは今回が初めだ、各地共思つたより開けてゐると云々、尙ほ大使一行は夫人及び令 靑木書記官、岡本子之吉氏外男女の從者合計八名で二日の朝長春著下車の上鮮滿直通列車接續の急行に搭乘露都に向ふ由尙ほ長春より大使館附海軍武官其他三名一行に加はるとの事である

◎輸入米粟減退

外國米及び粟の輸入は從來極めて微々たるものなりしが漸次增加の趨勢を示し殊に大正元年末頃より遽かに激增し大正二年に於ては外國米二、八七三、八一四圓、粟二、八九七、七二二圓に達したるが爾來漸次減退し大正五年に入りては極めて小額となれり蓋し是等輸入の減退は朝鮮產米の增加米價の低落及び戰亂の影響を受け船舶の不足せる等に依るものと認めらる、今大正二年より同五年に至る外國米及び粟の輸入價額を揭ぐれば左の如し

	米	粟
大正二年	二、八七三、八一四圓	二、八九七、七二二圓
大正三年	一、六七七、九五五	一、二四七、四四五
大正四年	二〇四、四四七	六三六、〇一九
大正五年十月迄	四三、一三三	四四四、六六三

◎繩叺製造計畫 會社設立の運動

輸移出米の包裝は米穀檢查令に依つて規定せられ居ると雖も地方に依り事情の異ると奸商中には個々重量のみを規定通りにして粗製の繩叺を使用する者等ありて包裝の不統一は日と共に甚しきを加ふるが如き傾向を呈し居れるを以て實際取引に當り目的地に於て取引上の圓滑を缺ぎ荷主の損失を招く事一再ならず此れが爲めに當業者は勿論政府當局者及び檢查所員の如きは包裝統一の必要を痛切に感じ居れるが今回全羅南道榮山浦繩叺製造販賣組合理事坂本由藏氏は包裝不統一の弊を喫ずるの餘り此際全鮮有力者を糾合して一大繩叺會社を組織し前記の弊を救濟すると共に一般生產者及び米穀貿易業者の利益を增進し延いては鮮內農民の家庭工業を增進せんとて仁川商業會議所に諮り同會議所和田書記長は此れに對し快諾を與へ目下會社組織其他に就いて熱心に攻究中なる由なるが同氏の談に依れば朝鮮に於て繩叺製造組合の如き組織的の者は二三あれ共其の製品は何れも不統一を免れず其他個人製品の如きは相當の指導監督するに非ざれば到底輸移出米の包裝に適せず而も朝鮮に移入する繩叺は年々數百萬圓に達するの現狀なれば繩叺製造會社の出現は朝野共に熱望し居れるを以て本會議所にては近々京城に開かる可き全鮮商業會議所聯合會の協議會に提出して此れが同意を求めて實現を計る可く目下製造會社の定款及び事業の方針等を研究起草中なり云々と語れり(仁川)

◎千歲艦入港期

機關候補生を乘せたる練習艦千歲(艦長中村大佐)は佐世保拔錨臺灣上海を經て目下香港方面に向け航行中の由仁川某所に通信ありたるが同艦は二月二十一日仁川に入港す可しと(仁川)

◎內田大使通過

新任駐露大使子爵內田康哉子は夫人令嬢靑木書記官其他の一行と共に三十一日午後九時二十分南大門驛著貴賓室に少憩の上同四十分發列車にて長春に直行したるが停車場には秋山大將、立花中將、橫井技師、久水外事課長其他の送迎ありたり

◎天寶鑛山近況

間島天寶鑛山に於ける採鑛及び精錬作業は稀有の嚴寒によりて水道全部凍結したる爲め結氷中止の止むなきに至れり之れ同山の水道は地下三四尺の所に埋設せられある爲め昨今の如く零下三十度以上の寒氣に遭へば忽ち凍結するものにて同山は八九尺の深所に埋設せざるべからざるもの、如し而して如上の如く水道の凍結を見たる爲め機關は全部休止せしめざるべからざるに至りたるを以て幹部連は一先づ東京本社に引揚げ將來經營上の打合を爲し三四月頃歸山の筈なりと(間島)

◎隈部警務部長巡閱

京畿道警務部長隈部憲兵大佐は管內楊州、抱川、漣川、長湍及び坡州郡の一部に於ける憲兵分遣所、同分隊、出張所檢閱の爲め二月五日より同十一日迄の往復豫定にて出張す可し

◎芳賀博士內地行

芳賀總督府醫院長は親戚病氣見舞の爲め三十一日午前八時三十分發列車にて東上せるが二月十四日頃歸任すべし

◎境氏出發期

既報の如く道警務部高等警察課主任警視境喜明氏は二月三日午前八時半南大門驛發列車に鄕里長崎縣へ出發す可し

人事消息

▲美濃部鮮銀總裁 一日午後七時五十分南大門發東上の筈

▲玉木幸次氏(大倉組社員) 三十一日夜入京天眞樓へ

◎南言北語◎

獨逸は第一回の講和提議を見事に跳ね付けられて又復第二回の講和提議をやるとか▲世界の平和を確保せん爲に世界會議を開いて哲人カントの夢想を實現しやうと企て居るとか云ふ▲而うすると大戰の發起者は忽ち翻つて平和の大使にならうと云ふのだ此奴は餘り虫が好すぎる▲講和と云へば頗る奇拔な戰爭終熄策を提議した一米國人がある▲其の策と云ふのは黃金萬能を露き出した處に面白味がある曰く▲聯合軍は獨兵一人を殺し若くは捕虜とするに三千磅を費やして居る▲其處で降伏兵士に二千磅同將校に四千磅を與へ戰爭終局までの生活の安全を保障する▲其れから將校には特に獨逸內政改造の際官職を約すると云ふ勸降狀を與へる▲此等の條件を書いたものを飛行機で獨逸の戰線は元より全國に散布する▲而うすると死で花が咲くものか生命あつての物種だから獨兵の心は必ず動くに違ひない▲獨軍總數を五百萬と見て此の買收總價格はタッタ百五十億七時砲彈が外れても此の黃金彈の外れつこはなかり相なとは皮肉だ▲黃金萬能と云へば米國では何にも金だロスアンゼルスにクラークソンと云ふ女優がある▲或日農場を見廻つて居ると百姓のロングと云ふ男が自動車で走つて來た▲アレと云ふ間に車の屋根の端でクラークソンの鼻を突いた▲か優君大立腹舞臺では一週三十弗づゝ儲けて居るが斯うなつてはハナハナ迷惑と▲鼻の損害五萬弗をロングに要求したさうだ馬鹿に高い鼻だ

送小宮刀水翁 立花 蜻洲

刀水悠々草帶煙。世途九折也誰憐。功名如夢夢如水。一睡韓山既十年。

同上

嘗盡辛酸後。始知世味眞。功名獨匪手。意氣舊通神。刀水波洋澹。韓山月灑娟。飄然何處去。吟釣靄巖濱。

同上 白水 孤峰

憂國多年德有隣。風懷別抱錦韜神。南山雪與刀光月。同照高踏濶步人。

豪氣老來須尙新。客身空負幾花辰。笑君五十九年節。占得錦鷄宮裏春。

臨別何忘楊柳春。南山雪後覺情新。旗亭今夜興無盡。同是鷗盟好古人。

同上 千葉 鹿峰

吾亦非無萬斛愁。枉將一醉話風流。功成身退江湖濶。心與白鷗留不留。

同上 九洲 野人

衣冠一擲賦歸田。欣喜老臣晩節全。九重亦有恩寵隆。錦鷄閣裏樂殘年。

同上

豈又老來逐世塵。十年功業在君身。朝衣雖脫琴書在。正是風流第一人。

高踏從君今古稀。去留如夢一心機。旗亭有酒故人酌。雪後南山客獨歸。

同上 阿部 無佛

辛苦十年鬢髮斑。功成今日得心閒。猶餘晩節双肩掛。未許白雲伴商山。

◎滿蒙近事

▲移民原住地 [illegible] ▲最近 [illegible] 以て之れを任用しつゝあり蓋し豆粕は一プート七十四哥前後に過ぎざれ [illegible] の患ひなければ若し炭價が今の高價を維持するに於ては豆粕の總じて石 [illegible] 機廠を撤 [illegible] を設 [illegible] て省城に兵工製造廠 [illegible] し中央に準備費と測量を命じ奉天よりは已に班長以下五名を北京 [illegible] 員の到著 [illegible] を二十九師に改 [illegible] ん事を中央に [illegible] 合せの爲め不日北京に赴く筈なり

▲巡閱 [illegible] 沿線巡閱 [illegible] 會に臨みたるが三十日午前八時十分安奉線にて安東に赴き一日午前五時五十分同地發奉天 [illegible] の筈(奉天)

鈴木五段著 科學的解釋 新式圍碁寶典

誰でも直ぐ分る入門の卷 再版 一二各六十錢 三卷五卷各金七十錢 四卷金六十錢 送本料各四錢

碁界の渴望 第五卷 (要目)死、活、切の練習問題、同解答二十目の實戰○布石法八目四目各四局の解剖說明は前例なき本書特長の科學的解釋に依り何人も碁道の極秘に通じ第一卷よりの讀者は直に好碁家は三四目の上達速成

誰でも初段八九目以上に成る

京城本町二丁目 大阪屋號 電話二八〇・四八六 振替三七五二

朝日空袋引換中止 (愈々明日にて締切り)

皆樣方の御慰みに ーこんな面白い空袋引換はありませんー

敷島、武藏野空袋は五十枚に付き八千代又は敷島三包と外に景品券一枚進呈

景品種目

一等 丸帶 二本

二等 半襟 二十八本

三等 婦人持煙草入 七十本

等外 敷島又は八千代一包 九〇〇本

御喜びになるは誰方でしよふ コンナ甘い事はないと

東亞煙草株式會社

酸素療器

登錄商標 オキシヘーラー ▽治病實驗例贈呈△

▼オキシヘーラーは效力の顯著なる事使用僅か五分間にして三乃至五ミリの血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十ミリの活力を增進す試にリバロツキ氏血壓計に之を驗せば何人も明に計量せらるべし▼靈妙なる酸素應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふ故に難治の疾病を根治する空前の偉力を有すに論よりも證據使用者は忽ち脈搏強實となり全身の溫暖呼吸の深長を感じ次で熟睡解熱鎮痛食慾の亢進兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

特色 使用法簡易効力永久不滅にして電池其他何等の費用を要せず

賃貸料一週間二圓五十錢

代理店募集す希望の方は御照會を乞ふ

正價金參拾五圓

オキシヘーラー代理店 京城櫻井町二ノ200本町四丁目交番北入 酒本保全堂

[illegible]は大缺乏[illegible]ブート九十番を唱ふる[illegible]支那商人等は豆粕を[illegible]油房共に多數の豆粕を貯藏し日々の[illegible]供給を企業者に仰ぎ火急の場合に臨む[illegible]以て支那商人等は豆粕を[illegible]襲擊或は[illegible]を失するの虞あるを以て現在の[illegible]部は奉天[illegible]陝西三督軍に聯合[illegible]張督軍は吳俊陞中將所管の巡防隊[illegible]昨年來[illegible]旅に殉ぐ之を襲擊し或は[illegible]し吳中將けそれに於き中央政府と打[illegible]し午後五時より赤塚總領事の晩餐[illegible]

◉會社員よりも番頭らしく
仕立て上げる共益社の社員合宿所

▣合宿生活の研究『獨身の若い人々の生活のために先輩と保護者は如何なる注意を拂つて居るか』

會社と商店を一緒にしたやうな共益社の社員合宿所は市街の中心とは大分隔け離れた鍾路五丁目の朝鮮人部落附近の社宅所在地にある、合宿所は一箇所あると言つてもその內の一箇所は

◆同社の田中事務が家族を內地へ還し廣い社宅に獨身生活をしてゐるところから序でに若い者も預からといふので四人ばかりの獨身者を集めてゐるものだが稱して之れを第二合宿と言つてゐる他の一箇所には十三人ばかり居る、同社では日常內鮮人が机を並べて店務に從つてるので幹部の方針として居住も一緒にしたいといふので京城以外の地から來てゐる鮮人の社員三四名は現在矢張り合宿に入れて居り、出來得べくんば

◆市內から通ふ鮮人も合宿に入れたい希望を持つてゐるが居常の習慣を根本から異にしてゐるために合宿生活を好まぬ風があつて未だに實行されてゐない、合宿に居る人の年齡は十八歲から三十歲までだが之れを取締る規則といふやうなものは設けてない、で同社が若い社員を仕込む方針として會社員らしくするよりは丁稚小僧から番頭を作るやうにしてゐるのでその監督には特に人を置いてはない、上の者が下の者の

◆日常の擧措動作を注意するやうにしてゐる、以前は中樞院の囑託になつてる千葉といふ漢學の先生に一週一回づゝ漢文の講義をして貰つてゐたが一つは社務が忙しいのと面倒しい漢學といふので若い連中は成るべくは之れを避けやうとし講義のある日には仕事に托つけて社に殘るやうな態度を執るので今では月に一度といふ事になつてしまつた、それから曹洞宗別院の北野元峰老師が京城に滯留中

◆元峯老師を招いて宗教的の講話をして貰つた事などもあつたが今では中絕してゐる、若い獨身の青年に對しては修養といふ事に就いては重役なり幹部の人が常に喧ましく言つてゐるけれども一般社會の風潮が善くない方面に向つて滔々として流れてゐる今日、是等には最も捲き込まれ易い青年の耳には甚だ入り難く、幹部の意思が思ふやうに徹底しないさうである、娛樂物といふ事も幹部の頭には常にあるらしいが

◆玉突にしても圍碁にしても最も修養を要すべき青年が適度にやればいゝとしても兎もすればそれに熱中して己れの本務を等閑にする事が多いので頭を捻つてゐる何かいゝ方法があれば娛樂機關も設けたいけれども遲疑逡巡してゐる

新任駐露大使內田康哉子並に同令夫人＝（三十一日午後九時二十分南大門驛にて）

□畏き御姿
國母陛下御眞影著

皇后陛下の御眞影三十五枚を捧持して三十一日夜歸京せる陶山通譯官を途中に迎ふ、氏は語る、御眞影は大城戶囑託が東京から下の關迄捧持し來り私は下の關で囑託より恭しく受け繼いで船車共何の恙なく唯今到著する譯です、御眞影は國母陛下の聖姿で總數三十五枚と承はります、南大門著の上は直ちに之を總督府に安置し多分各道に夫々御頒ちになる事と思ひます云々停車場には荻田總務局長始め出迎ひあり直ちに總督府より差遣しの馬車にて順路を總督府に向つた

◉莞爾やかに大使夫人
楚々として語り出づる歐洲婦人生活
寢臺には愛らしい令孃が熟睡の笑顏

快活で愛嬌に富んだ內田大使夫人政子の方は列車中にて髮は女優卷きすつきりした黑色の旅行服で其の白い顏が一廓引き立つ

◇プラチナの頸飾が光る 終始笑顏を見せつゝ楚々として流るゝやうな能辯で語られる、急行貴賓車中の喫煙室、大使と椅子を並べられた『眠たがる娘を寢かしてゐましたので遲くなりました、いゝ旅行はもう馴れて居りますし、何しろ出發前旅行の準備に大變忙しいのに色々の方がお出で下さいましてツイ話しに時が移り何しろ目の廻るやうでしたから、寳の所

◇汽車中で休息をしてゐますの、露都に參りますと何よりも料理が結構で御座いますから料理人も米を初め色んな料理材料も可なり携さへて參りましたが何でも長春から先は汽車の都合や何かで大變遲れるらしいですから荷物が滿足に露都に屆きますやらと心配してゐます朝鮮にはズツト以前既に度々參りましたからコレと云つて珍らしい事もありませんが

◇大變開けて參りましたドコにも內地人の方が澤山いらつしやるやうで御座いますね釜山も往年一寸寄港しましたが今日では當時の狀態はドコにも見られません、埠頭の設備などの完成してゐる事は吃驚する位でした、それに沿線の山の植林が大變行き渡つてゐるやうに思ひます、朝鮮婦人の衣服ですか、上流の色彩あるのは未だ拜見しませぬが

◇白色のは如何にも淋しく思ひます、あれでは汚れて洗濯に手がかゝつて仕方がありますまい‥‥フト大使が以前駐紮してゐた墺國の話しが出る、夫人は墺國の婦人に就て語る‥‥『墺太利の女‥‥維也納の女と云へば色が白くてやさしくて美しいで通つてゐます』私が上流社會に於ける同國婦人に就て最も感じたのは

◇語學に堪能な事でした 獨逸語は素よりドコの奧さんも佛語も英語も仲々達者でした、それと云ふのが維也納では厄さんの學校はあるけれど女學校的の教育機關は全くなく奧さんの教育は皆夫々の家庭で家庭教師を聘してやるのですから其の教師の語學の力が自然奧さん方にも及んで行くのでせう、又日本の方が支那語や露語を習ふより

◇國境が接したりしてゐて必要からも來又便宜もあると思ひますが但し是れを習得する才能はすぐれたもので兎に角羨ましいと考ゆる事が多くありました、事實主人は獨逸語ばかりしか出來ないのに奧さまは佛語も英語も流暢にいけるので御座いますからね、又維也納の交際社會は大變賑やかでありますが男の方の舞踏は餘り見受けません‥‥子共は娘一人であり升

◇滿四歲と數箇月にしかなりませんから見る者聞く物何でも珍らしいやうで大變喜んでゐます‥‥』永登浦に近づくと出迎への人も大分見ゆたので辭し去る、南大門驛では官民有志並に夫人の親しき方々の迎接があり夫人は楚々として人々に應酬してゐられた

◉褞袍被いで虎狩りに
宿直巡查、虎に顏を舐めらる

平壤包圍攻擊＝死刑囚の放免＝敵情の偵察＝生蕃を嘲つて＝命から〴〵＝境前縣視の談＝其二＝

時に風前の燈火の如き運命にあつた元山居留民も佐藤鬼大佐の上陸と同時に全く安全となつた然るに鬼大佐の一隊は之から

◆平壤に向つて 進軍せねばならぬ此の一隊は平壤包圍攻擊に參加せねばならぬから直に元山から平壤に向つて出發するに[illegible]道路は險しい山路であるから[illegible]

◆多數の支那兵 が居ると云ふ事を聞いた、そツと邑の背後の山の上に登つて見ると居るは〴〵赤い帽子で白い馬に乘つたのが四方八方に馳せ回つて居る之を眺めた人夫等は何時の間にやら一人も殘らず逃げて仕舞つた致方がないが扨て又之れ丈けで引つ返すも殘念である一層の事敵の兵力を偵察してやらうと思つたが大世道の初めで遂に支那兵に發見せられて酷い目に逃び山の中に潜んだり生蕃を嘲つたりして命からがらでやつと

◆元山に歸つて [illegible]

◆噓言の樣な話 だが一夜[illegible]本警察署の宿直巡查が椅子に腰を卸してウツラ〳〵眠つて居ると何だか顏を舐る者があるのでフト眼を開くと何處から來たか虎が其の側に來て居たので大騷ぎをした事もあつた＝イヤ笑つちや不可ない實際の話だ＝其う云ふ譯だから從て虎害も頻々たるものであつた丁度冬の頃元山から餘り遠くもない安邊の沖の一小島に猛虎が出て頻に虎害を訴へて來る其處で豪傑連が申し合せて一番虎狩をやらうと企てた日本人は吾輩の他にまだ三四人も居たが

◆其の內の一人 [illegible]

◉南滿強震後報
龜裂二里
人畜に被害無し

匯川の如く三十日午後六時より三十一日午前四時迄の間に於て新根方面に數十回の地震あり中六回の強震にて宮の下方面は震動最も甚だしく湯本村畑は白色に變せるも被害なし湯本村宿の山嶽は約二里に亙る龜裂を生じたるが人家には危害なし震動は今尙漸次輕微となれり（東京特電）

◉西蘇島の火災
損害二千餘圓に達す

二十九日午後二時四十分頃京城府高陽郡纛島面西蘇島里鄭道商趙龍夏方東方の空地にて同里李德俊（二七）外二名が新の整理中薪より發火したるより京城纛島派遣所員は消防組員を指揮し消防に努め水源地より三百餘尺のホースを伸ばして注水したるも火は容易に消えず柴七千束（百餘圓）住宅一棟半燒（七百圓）倉庫一棟（二百圓）穀二百石（千圓）合計二千百餘圓を燒き拂ひ午後四時二十分鎭火せり同部落は約一千戶あり人家稠密の場所なりし爲め一時は非常に混雜を來したるも幸に他に延燒なく人畜に異狀なかりしと

◉帆船轉覆して
五名行衞不明

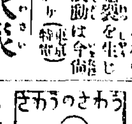
慶尙南道統營郡沙等面汝山里金仲善（三七）は自己所有の朝鮮帆船（六十石積）に木炭百八十俵及び旅客三名を乘せ一月十七日午前十一時頃統營港を出帆し居村に向け航海中同日午後十二時頃統營郡陽面豐和里沖合にて暴風浪に襲はれ轉覆沈沒し乘客一名乘組員四名は行衞不明となりたるも急を

◉遭難者遺族に慰藉料
自動車墜落事件の落著

客臘三十一日平北新義州新義州間にて自動車が橋より墜落し死傷者數名を出したるに對し遭難者の遺族等は營業主に對し七千圓乃至五萬一千圓迄の間に於て金額を定め慰藉料及び損害賠償の請求訴訟を裁判所に提起する所ありしが仲裁者ありて此程死者金鍋入の遺族に八百圓、李明煥の遺族へ六百圓の慰藉料を贈與して示談事濟みとなり訴訟を取下げたりと

◉女子高等師範入學者
本年奈良女子高等師範學校に入學せしむべく宇佐美內務部長官は在鮮高等女學校より卒て四名の生徒を推薦中なりしが內釜山高等女學校四學年大槻富美子一名入學する事と決定せり因に同女は同師範學校家政科に入學す可し

◎加藤神社の節分祭と星祭 龍山加藤神社にては來る三日例年の通り午後五時より節分祭並に星祭を執行すべく參詣者には五百人を限り無料にて福豆を分與すと尙星祭希望の者は住所姓名男女別及び年齡を記し前日迄社務所に申込あれば依賴に應ずべしと



先達て京城の銀行家が寄つて來る處で新年宴會を催した、何がさて斯る場合何か奇拔な事をやつて見なければ虫の納まらぬ猛者揃ひと來てゐるので幹事に當つた人も鳥渡首を捻つたが名案も浮ばない內に餘興の踊が始まつた、扇を翳して立ち上つたのは光菊、千代香、玉子の三人、此の時幹事がポンと横手を拍つたのは三人の踊の出來不出來を近頃流行る公職與論に問うて參會者の投票に決しやうといふのだつた▲そこで愈々投票となり、手を振り過ぎたの足が曲つたの眼の配りが惡いのと一通り議論があつた末その出來は千代香、玉子、光菊の順序になて幹事からそれ〴〵賞品を贈つた▲すると貰つた方の三人もこれは唯納めてしまつてはまことに曲が無いといふので苦心の末中味はお粗末だけれども本町通りで年寄が一人でコツ〳〵燒いて賣つてる繰起のいゝかき餅を立派な桐の箱に詰めて▲ホンの御禮までに恭しく當時の幹事の許へ持參した、幹事はいたづら甲斐があつて忝らいものを持ち込んで來たと蓋を開けて見ると、これはいかな事かき餅が現はれたのでアツと驚いたが謂れを聞いて見ると此の社會では頗る通な菓子と判つて納める事になつたさうだ

◉生徒募集
本年四月入學セシムヘキ本校第一學年生徒約百五十名ヲ募集ス詳細ハ一月二十日以後五日間ノ朝鮮官報又ハ本校ニ就キ承合スヘシ
大正六年一月
京城中學校

朝鮮總督府濟生院
當院盲啞部ニ於テ來ル四月入學セシムヘキ盲啞生徒ヲ募集ス詳細ハ一月三十日以降發行ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正六年一月三十日

生徒募集廣告
來四月本科第一學年生約五十名別科第一學年生約三十名其他ノ學年ニ若干名ノ補缺生ヲ募集ス
私立京城 女子技藝學校
南大門內 電話一七八九番

伊東祐穀著 第十回 袖珍世界年鑑
一月一日發行（定價一圓二十錢）
特價金一圓二十錢 送料金八錢
著者兼發行者 東京市麴町區 伊東祐穀
發賣所 東京 丸善株式會社 同大阪京都福岡仙臺各支店 合資會社 東京堂書店 及全國各書店取次

物品拂下廣告
第一號 護謨ホース及タイヤ類
第二號 水銀
第三號 下駄臺皮草履
第四號 綿メリヤス肌衣皮猿股
第五號 流込蠟燭
右來ル二月十五日京城稅關出張所ニ於テ入札賣拂ス
大正六年二月一日
仁川稅關

楠野仁川府尹の歡迎を兼ね新年宴會開催候に付御出席相成度候也
日時 二月三日午後五時（土曜日）
場所 黃金町三丁目 清華亭
會費 金一圓五十錢當日御持參の事
申込所 南大門通土佐武會社內
高知縣人會幹事

水驪間自働車 運轉中止
水原驪州間定期運轉自働車は積雪の爲め當分の間運轉を中止候
（[illegible]日より[illegible]）
京城南大門 日吉 自働車商會

廣告
陰曆正月休業中の處二月一日より從前の通り營業開始仕候間何卒御引立上候
京城觀水洞（水標橋北）
中華料理 大觀園
電話六三三番

第貳拾期營業報告

資産ノ部

科目	金額
拂込未濟資本金	四五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸貸出金	貳、六貳壹、壹六七、八五五
諸手形割引	壹、壹八六、七〇〇、參四五
諸預ケ金	四九、壹九九、五六貳
他店へ貸	四、貳七貳、四壹〇
公債及株券	貳四七、七八壹、六〇〇
地所建物什器	參九參、壹參八、壹五〇
流込物件	七五、參貳五、〇六〇
假拂金	壹八、參〇六、八五〇
金銀	壹貳六、參九貳、四六六
合計	五、壹七貳、貳八四、貳九八

負債ノ部

科目	金額
政府貸下金	四六貳、五〇〇、六〇〇
農工債券發行高	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇
支拂未濟農工債券利子	參七〇、參〇〇
資本金	壹、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	壹參壹、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	五、五貳五、〇〇〇
諸預金	壹、八六七、四七六、壹〇五
仕拂送金	壹貳〇、參參〇
爲替手形	壹參、壹五參、五七〇
諸借入金	九五九、七貳六、九六〇
他店ヨリ借	九貳、參四貳、壹八〇
朝鮮銀行代理店	壹五、〇〇〇、〇〇〇
未達勘定	五壹八、五壹〇
假受金	八、七七〇、八七〇
當期利益金	壹五、七七九、八七參
合計	五、壹七貳、貳八四、貳九八

利益金勘定
金壹萬五千七百七拾九圓八拾七錢參厘 當期利益金
內
金參千參百四拾五圓 積立金
金九千貳百八拾四圓 配當金（年四分）
金七百圓 重役賞與金
金貳千四百五拾圓八拾七錢參厘 後期繰越金
右之通候也
大正六年一月
株式會社 漢湖農工銀行

京日案內
普通 一回前金一行五十錢 一番外一回前金一圓 一置名一回拾錢增無料 申込後中途撤收中止の節は前金返戾せず

看護婦一名女子事務員一名入用希望者本人來談あれ 京城櫻井町二丁目二番地交番北入 酒本保全堂 114

◉朝鮮臺報廣告部外交員一名入用保證人要 本町二ウツボヤ書店 112

被雇度 中種商業卒業年二十五給 不望保證人有り 太平通二丁目 三好龍方 山田 107

◉讓店 有望なる菓子店 明治町二丁目 山本菓子店 110

◉乳母至急傭ひたし但し産後三ケ月以內の者希望の方は御來談あれ 太平町一丁目六九八番 更科支店 110

◉古本熱心高價買入▲御報參上 ◉非御試驗を乞▲本町四 電話二七八一番▲書肆 群書堂 58

年齡十八九歲男店員數名入用希望者は至急來談あれ龍山三角地角陸軍御用菓子商 石見堂 電話三二一番 101

貸家● 家賃十二圓間數四間 南山町三ノ二九幼稚園上 電話六三六京城十友合資會社 103

番外

質業 岡村質店 旭町二丁目六番地 111

記者 及外交社員各一名至急採用す希望者は午前中御來談あれ 京城初音町一六 報知新聞支局 113

◉朝語鮮科 ◉英語科 新學期三ケ月修業 各級補缺 募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 99

◉はねつぎ（うちみ・くじき）一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 89

怒濤の月

六十六 小林蹴月作 武内桂舟畫

虎の窟『十三』の五

『飛んだお世話さまに……』と絹代は義理からにでも、コップを手に受取らねばならぬやうな破目に陷つたのである。

『いゝえ、お世話どころぢや御座いませんの、松崎さんには最う始終御迷惑ばかし掛けて居りますんでね、ほゝ、ほゝ、松崎さん、貴方はお熱い方なんでせう』

『いやそれは有がたう。俤の上と云ふ奴は、空つ風が眞正面だから堪りや爲ないんです、折角だから一杯貰ひませうかね』

もし絹代さんとやら、そのお盃をお受けになりますとね是からどんな幸福の運が貴女のお身體に向いて來るか知れや爲ませんよ。諡かますに、お一ツ召上つて御覽なさいまし、こんな皺だらけの手でも、昔は粋な音締の三味線位は彈いた事もあるんですから、此の手で鳥渡お酌をさして頂からぢやありませんか』

松崎は女將とは、無論腹し合はしてあるのであるから敵はない、燗の好い無理往生を以て、到頭絹代に盃を持たせて了つた。絹代はほんの居に宛行ふ眞似して、盃洗にそれを明け

松崎は、平氣に杯を引受けて、二三杯立てつゞけた。そして、その最後の杯を絹代の方へ無理に獻しつゝ

『さあ、絹代さん、貴女も一杯附合つて下さい。こんな小さな物を全然毒でもあつたつて別れたもんぢやありませんか』

『あの、妾はあの、此方の葡萄酒を頂いとりますんですから……』

『葡萄酒は葡萄酒です。私が心盡しの盃ですから、一杯位は受けて下すつても好かりさうなもんですね』

松崎の口吻は、醉ひの爲めばかりでなく、此の刹那から稍一鞭動を來した。

『惡うざころぢやありませんわ、松崎さん見たよな、女子の方に親切があつて氣がお付きになつて、それでお金儲けがお上手な殿方と云つたら本統に鐵の草鞋もんで御座いますわ

けやうと爲ると、ぞつこい松崎は、隙さずにその細腕を抑へた。

『是はしたり、絹代さん、飲まずに捨てる位なら、初めから獻しもせず受けも爲ない方が、餘計な手數が掛らんで優しと云ふもんでさアね。男が心を罩めて獻した盃の底には、月が澄んどるか花が宿つとるか、それをよく〳〵見定むるまでに飲み干して下さらんでは、張合がないと云ふもんぢやありませんか。ねえ、女將』

何だか謎のやうな事を言ひかけられたので、絹代も、流石にはてなとは思つたが、固よりその謎の語を解いて合點するやうな、融通の利く女でない事は分りきつた話である。絹代は、顫ふ手元に盃を支持つたなりで、稍少時途方に暮れて居た。

『さア、もし絹代さん、松崎さんが彼れほどに被仰るんですもの。ぐいと飲つてお酬しになつたが宜しいでは御座いませんか、その次には妾もお一杯頂戴したう御座いますのよ、ほゝほゝほ。さあ、思ひ切つて召上りませんな』

右左から、附きりで責め立てられるので、絹代は、最う乘る事も反る事も出來ぬのであつた。謎も理窟も義理も外聞も、一切そんな事は考へずに、眼を堅く瞑つた儘、ぐいと一杯飲み下して、辛くも松崎に返盃の義務だけを果したのである。

『まあ、お見事〳〵。それでこそ松崎さんの御心願も芽出度く叶つたと云ふもんですわね。松崎さん、今夜はお約束通り帝劇の越路を驕つて頂きますよ、好う御座いますかね』

女將は、一人で萬事を承知したやうな調子で勝手にこんな事をお饒舌しながら、今度は松崎の盃へ酌する

『はつはつは、そりや越路位はお易いことだが今夜の出物は何だね?』

『今夜はたしか太十だと思ひましたよ』

『太十とは幸先が好いね。十次郎と初菊の三々九度は、就中嬉しい所だ』

『するとお婆さんの役廻りは、差詰め妾なんですかね。おほゝほゝおやまあ、お饒舌を爲てる間に、お銚子が空になつたやうですから、どれお代りを……』と女將は、何やら鳥渡松崎に目配目を爲ながら、急ぎ足に階子段を降り行く。

京城府永樂町一「商品陳列館通坂の上」 花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

小兒の虐待

近來兒童虐待防止に關する意見が盛んになつて日々の新聞にも繼子殺しや繼子虐めの記事の一つや二つ出て居ないことはない有樣であるこれは是非とも矯正しなければならぬことだと思ふが此外に兒童虐待はないやうに考へて居るが私はこれ等の事業を狹義に於ける兒童虐待なりと解釋し廣義に於ける兒童虐待の頻々として行はれて居るのを玆に一言せん例へば小兒の腹腔といふものは成人の腹腔とは形狀並に構造に於て小大の差がある許りでないいろ〳〵の點に於て違つて居る赤兒が泣くのも一にも二にも乳と云ん風に母親が無闇に子供に乳を飲ましむることは決して宜しくない成程腹が減つた場合には乳を與ふるが至當であつたが赤兒の泣場合に空腹だと斷定する譯には行かぬ腹の太い時に乳を與ふれば赤兒は苦しくなつて更に泣くこれが虐待である小兒の手をエッキス光線で寫して見ると成人の指骨は悉く整つて居るが小兒の指骨は手首の所に尙ほ足らないところがあるだから尙武の氣風を養成すると云つて柔道や擊劍をやると骨に龜裂を生じて取りかへしがつかぬ而も一たび骨に龜裂を生ずると終生その部分に患ひを貽すのである又小兒の頭腦をエッキス光線で見ると成人の頭蓋骨は前後左右に能く癒著して居るに拘らず子供のは後頭部に於て尙癒著せざる部分がある之を知らずして頭腦をポン〳〵叩くと直に腦髓に觸れるのだから往々馬鹿になることがある此等は生理衛生の一斑さへ知つて居ればその禍を未然に防止することが出來るから高等女學校などに家事科が設けられ居る限りは形式一片のものにせず小兒の抱き方育て方等に就て一般的智識を授ける必要がある(某醫家談話)

「寒。句。行。」(第五日)

寒念佛

寒念佛曹洞宗の小提灯 木雨
美しう生れしが寺へ寒念佛 青丘
殖民地は官舍にも來る寒念佛 耕伯
寒念佛頭巾は白く町暗し 容堂
寒念佛を縮ひて居る大戸哉 田打夫

水涕

二階には水涕すゝる兒一人 木雨
水涕や老僕は今年六十三 同
水涕や我をたよりて著し友 耕伯
涕水にいつまで生る老婆哉 同
水涕の姉を恐るゝ家内哉 北星
水涕や主家の不運を聞く老後 青丘
水涕や曲み書き居る幾字 容堂
通譯を疑ふ旅や水涕 田打夫

冬の川

石切場の屑捨る冬の河原哉 北星
冬川や風に應へて地藏あり 同
冬河原偶々芒ありにけり 容堂

濃霧艦所見

絕壁を背に冬川や牛を追ふ 青丘
閘の岸に芥棄て來し冬の川 田打夫

新刊紹介

▲警務彙報(一三六) 論說不平湛出の良法(村上博士)及法令朝鮮總督府所屬官吏職員の加俸に關する件中改正判決例彙纂の件其の他(十五錢朝鮮總督府警務總監部)

▲極東時報(一二) 極東の佛蘭西、佛蘭西の財力、佛國西學藝院、宣事研究及び引續き文藝消息佛蘭西だより等を收む(十八錢東京市京橋區築地明石町三十二東洋社)

▲東洋時報(新年號) 引續き小松原會長の滿洲旅行談鶴見左吉雄の歐洲の經濟戰爭の外東蒙古に於ける天然資源其他を收む(五十錢東京市麴町區內山下町一の一東洋協會)

▲人文(二月號) 天變地夭と日蓮上人『姉崎正治』ゲエテと獨逸語『大津康』科學か常識か『太田善男』敎育上より見たる新劇『野伸都太郎』等(十四錢東京市小石川區白山御殿町一七番地人文事務所)

▲文章俱樂部(二月號) 創作の氣分『小川未明』漱石の文章『小林愛川』古今二百年『大町桂月』咳聲涕未しづ』其他短歌短文等(十錢東京市牛込區矢來町中の丸新潮社)

▲日本魂(二月號) 御聖影の取扱方に就て『校讀社』廣瀨中佐並物の光武甲田大佐『日本と日本人』『スチンソン嬢』其他數十篇依例日本魂主義を高唱せり(二十錢東京市京橋區三十間堀三の七共社)

▲騙の皮(松本常味編) 世界笑話新集第一編として支那笑話騙の皮外十二篇を編せる者にして神秘的のもの諷刺的のもの敎訓的のもの取り交ぜたり少年少女の好讀物たるべし(二十五錢東京市神田區表神保町九番地富山房)

▲圖書通信社月報(新年號) 小說講談の挿繪時事に關する畫帖圖譜報其他新聞雜誌に必要なる諸材料の見本(非賣品東京市芝區櫻川町七圖書通信社)

▲第二回海外派遣官報告集(第一回) 本書は局に於て本邦藥品販路擴張の見込ある海外有望市場調査の爲め大正五年九月より約六箇月の豫定を以て派遣せられたる農商務省海外派遣官報告書中南洋支那部加奈陀英領海峽殖民地蘭領印度方面に關するものにして昨年十一月十五日迄に到着したるものを收錄す(價不詳農商務省商工局)

▲電機學校の盛況 東京神田錦町の同校は明治四十年創立以來既に千五百六十五名の卒業生三百三十八名の遞信主任技術試驗合格者とを出して全く無職者無く晚近電機工業勃興の爲め諸會社の雇人要求に應じ能はず尙又同校は益々發展に努力し最近の計畫として電氣化學科機械科講義錄及び本科講義錄の革新を完成し現に校內生千四百六十一名校外生四千五百四十七名を有し此種學校の覇權を握りつゝあり

哈爾賓經濟雜信

●黑龍銀行の成績 黑龍江省ブラゴ……百十九留八十一哥總支出二千八萬三千七百四十留二十六哥なりと……

▲輸材汽船買入 露國々有として政府は黑龍江汽船より汽船ミハイ……に付九十哥安くて八十哥以上を……にては支那人の小賣店にては一……入りて以來此左程の大漁を見ずと……共盛附近に陸揚したるのみにて一切の取引を了するは最も便とする處なり……沿洋魚市場水揚高は總量百六十七萬九千百三十五哥價格十萬八百六十六……を示せり斯く激增を見たるは近海角網の前年より八統を增加し卅五統と改善を行ひたるに原因す尙昨漁獲物の販路は鮮內地沿襄百十二萬五千五……

最新刊

書名	著者	定價
當世百道樂	堀內新泉	一、二〇
支那語大辭彙	石山福治	四、五〇
水力タービン	內丸最一郎	三、〇〇
電氣工學交通理論	岡本貞吉 外三工學士	五〇
實驗劇藥利殖法	劇藥研究會編	七〇
銀行論	山崎覺太郎	七〇
口語法	文部省編	四五
明暗	夏目漱石遺著	二、五〇
近代小說史	藤岡作太郎	二、五〇
墨西哥と其の天產	村岡文譯	一、五〇
無我の生活	新井石禪	九〇
默仙禪話	日置默仙	九〇
日蓮聖人の孝道	磯野本精	九五
日蓮主義	本多日生	九五
古今名家書簡集	水野葉舟	六五
木堂葡萄話	油岳逸	一、〇〇
新式實用辭話獨修	山口虎郎	一、〇〇
ある青年の夢	武者小路實篤	一、四〇
死者生者	正宗白鳥	九五
小說つき 涙前後編	篠原嶺葉	各六〇
ドンキホーテ冒險お伽噺	和田、星野共譯	六五

◎當尙高等全科參考 前期用其他入學參考辭典類澤山著備致候

京城本町一 電話六四・三六番 振替京城二五七三 大阪屋號書店

花柳病 外科專門 梅毒 淋病 痳病 痔病 婦人病 脫肛 痳疾 泌尿生殖器病 皮膚病 其他手術 六〇六注射 神經衰弱 入院隨時 診察無料 每日 京城長谷川町南大門通農銀裏 司生堂醫院

新刊

書名	著者	定價
冒險お伽噺	和田垣博士	六五
金持ちサニン	武林無想	一、〇〇
描かれたる種	近藤經一	一、〇〇
我が日道上義	佐藤鐵太郎	一、〇〇
帝國國防論	衣笠創吉	一、八〇
入體の現象	三譯力丸郎	一、五〇
小學教師としてのトルストイ	三浦 關造	一、〇〇
會計要論	工藤重義	一、二〇
法學通論	金森徳次郎	六〇
人事訴訟法判決實例	巖松堂	三、〇〇
朝鮮六法全書	同	一、八〇
鑛業法令集	中村喜元	一、三〇
朝鮮鑛業要覽	鑛業研究	一、二〇
大正青年と帝國前途	德富猪一郎	八〇
牛	岡本米藏	一、〇〇
高等文官試驗問題集	巖松堂	六五
高等文官受驗提要	同	四五

京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五四番 巖松堂 京城店 古本部 仁川店

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

木炭廣告 新幕產根炭上等 廉價販賣 但し百俵以上御入用の御方樣には特に御相談可仕候 京城岡崎町 三幸洋行 電話二八〇〇番

眼科 內科 小兒科 京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番) 入院隨意 院長 本田建義 本田醫院

◀弊園は採種地として本邦唯一の地にあり、且つ種類豐富にして取引最も正確、價格又低廉なることは他店の模すべからざる大なる特色に御座候
◀一度私共の目錄を手にするとき始めて眞の種苗店なるものを發見可致候
弘前市外取上 北日本農園 振替東京二〇三六九 電話二〇四番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二〇九番

大日本優等清酒 パックル 品質純良 衞生無害 白鶴 釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七 振替口座四二五番

資本金 貳千百五拾萬圓 積立金 壹千〇貳拾四萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 頭取 佐々木勇之助 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

醇良清酒 大阪府堺市 釀造發賣元 肥塚源次郎 京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

FAMILY HOTEL ファミリーホテル 市內四通八達の場所 土地高燥、眺望絕佳 庭園廣く閑靜の地 御料理調進 客室 食堂 完備 宴會は特に御便利に取計可申候 ミセス、ソーエル 番ソンタグホテル改 京城南大門通三 電話一二二八番

大邱浦項間自動車時間 大邱出張部 大塚農場自動車所

金泉尙州間自動車時間 金泉織居自動車支部

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 ○大有丸 一月廿九日後四時出帆 ○秀吉丸 一月 日後四時出帆 ○君が代丸 二月 七日後四時出帆 ○北海丸 二月 三日後四時出帆(船客御斷り) 仁川海岸通一丁目 杉回酒部

第二共同汽船仁川出帆 ○芝罘、大連行 第十共同丸 一月三十日正午出帆 朝鮮郵船會社大阪商船阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 野口商會 元山代理店 京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆 ○大連行、秦皇島行 三河丸 一月廿九日正午出帆 相模丸 二月十九日正午出帆 高砂丸 二月三十日正午出帆 仁川海岸町十一番地 堀 回漕部

大阪商船仁川出帆 ○群山、神戸、大阪行 薩州丸 一月廿九日後五時出帆 ○群山、木浦、釜山、長崎、神戸行 須磨丸 二月十五日正午出帆 油頭丸 二月八日後五時出帆 大信丸 二月十一日正午出帆 ○安東丸 二月 日後五時出帆 ○大連行 信濃川丸 二月三日正午出帆 信濃川丸 二月二十日正午出帆 ○群山、木浦、釜山、長崎行 臺南丸 二月十二日後二時出帆 ○大連直行 大信丸 二月十六日正午出帆 ○湖南丸 二月 日正午出帆 ▲宮島丸 二月九日後十二時出帆 ▲安平丸 二月三日 ○天信丸 二月三日正十二時出帆 ○上海、青島 基隆丸 一月三十日後四時出帆 御注意 大阪商船會社仁川支店

汽船釜山出帆廣告 門司、神戸、大阪行 ○立神丸 日後五時出帆 ○小倉丸 日後五時出帆 ○元山、清津、浦鹽行 ○立神丸 日後十時出帆 ○小倉丸 日後四時出帆 ○元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 日後六時出帆 ○門司、宇品、神戸、大阪行 ○第三琴平丸 日後六時出帆 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天與丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆 釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆 ○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 釜山發 ○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山發 ○昌 ○江陵丸 ○義州丸 浦項發 ○三河丸 ○統營丸 ○海州丸 釜山發 ○平壤丸 元山發 ○慶尙丸 ○慶興丸 ○鹿天丸 木浦發 ○麗水丸 ○公州丸 仁川發 ○江原丸 ○晋州丸 ○麗水丸 ○全江丸 ○錦江丸 每日午前 仁川發 本社 京城南大門通 電話一九五三番 京城代理店 松原運送店